

コミュニケーショントピックとしての「日本」を知り、考え、 発信へとつなげる英語科の授業を創る —ESDの視点から—

A report on classes in which students know, think, and present about “Japan”
as one of the topics in communication
—from the perspectives of Education for Sustainable Development—

英語科 中 島 義 和
Yoshikazu NAKASHIMA

要 旨

コミュニケーショントピックとしての「日本」に関する話題の引き出しを増やし、深め、英語で交流できるようになることを目指すためのプログラムの必要性を感じ、本研究を行うことにした。これまで、学習者の表現力を効果的に育成する授業・活動や学習者集団が主体的・自治的・協働的に学習の場を創り出し、学習を進めていく授業・活動、「考える」ことを促し、学習の深化を図ることを目指した授業・活動について研究・実践を行ってきた。これらを融合、統合させ、学習者にとってさらに学習意欲が湧き、学習への動機が高められる授業のあり方を模索しつつ、そこにESDの視点を取り入れ、授業・活動開発を試みることにした。

明確な対象や目的を意識し進められる活動は、学習者の学習意欲や動機を高めることを、英語科の視点とESDの観点を織り交ぜながら、本プログラムを通して実践・考察したところ、大変有益であると感じられた。生徒たちが、「日本」およびその諸問題について興味・関心を持ち、それらについて英語を用いつつ、アプローチすることで、学習意欲・動機が高まり、また、コミュニケーショントピックとしての「日本」についての話題の引き出しが豊かになればなるほど、生徒の英語を活用した発信意欲も高まる。そして、ESDの観点を活用した、「知る・考える・発信する」のコアサイクルを意識的に設定した課題解決型授業は、英語科の授業において生徒の学習意欲や学習動機を高めるうえで大変有効である。

キーワード：コミュニケーショントピック 「知る・考える・発信する」 ESD

動機づけ (motivation)・動機 (motive) 協働的課題解決

I はじめに

著者は勤務校着任以来、中学校英語科の授業において、学習者の表現力を効果的に育成する授業・活動や学習者集団が主体的・自治的・協働的に学習の場を創り出し、学習を進めていく授業・活動、「考える」ことを促し、学習の深化を図ることを目指した授業・活動について研究・実践してきた。

また、それと同時に、グローバル化する社会を生きていく子どもたちに必要な力を、中学校の英語科授業において、どのように育てていけばよいかを考えてきた。他者と関わっていく際、コミュニケーション能力は必須であるが、他言語話者とのコミュニケーションにおいては、共通となる言語も

また重要となる。その意義においての英語の重要性は言うまでもない。また、それと同時に重要なのは、コミュニケーションを図る際のトピックである。このトピックの引き出しの乏しさがコミュニケーションの深まりを妨げている一因となっているのではないだろうか。日本人が他の国の人々と交流を図る際に、日本について尋ねられることがよくあるが、日本について意外と知らないことに気づかされることが多いのではないだろうか。そこで、そのトピックの引き出し、特に自分が暮らしている国「日本」についてのそれを増やし、深めて、英語で交流できることを目指すプログラムの必要性を感じ本研究に至った。

これまでの研究の視点の融合化・統合化を図り、学習者にとってさらに意欲が湧き、学習への動機が高まる授業のあり方を模索しつつ、先に述べたコミュニケーショントピックとしての「日本」に着目し、ESDの視点を取り入れ、授業・活動開発を試みることにした。なお、言語教育における「動機 (motive)」とは、学習理由や学習目的など、行動の目標・目的を規定するものと考えられている(廣森, 2010)。本研究では、学習対象に対する興味や学習結果に対する達成感、コミュニケーションしたいという意思 (willingness to communicate, WTC) の向上を目指すものとした。

本稿では、以上の視点から実施した研究・実践を紹介するとともに、考察・検証、成果と課題を報告する。また、平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)奨励研究「研究課題名:コミュニケーショントピックとしての『日本』を知り、考え、発信へとつなげる英語科授業開発【課題番号:26908031号】」の研究報告の視点からも述べることにする。

Ⅱ 研究の構想

1. 研究目的

コミュニケーションにおいては、互いにとって共通となるトピックや、共通性の高い課題が共通となる言語とともに重要であり、これらの不足がコミュニケーションの深まりを妨げている一因となっていると考えられる。そのトピック(話題)の引き出し、特に「日本」についてのそれを増やし、英語で交流できることを目指すプログラムを開発するために本研究を行うこととした。外国語教育における学習者の動機づけ(motivation)は、学習意欲と呼ばれることもあり、言語学習が成功するか否かを左右する重要な要因の一つであると考えられている(Dörnyei, 2001, 2005; 本田, 2008)。この点において、重要な要素といえる動機として、ESDの視点を取り入れ、英語を活用して発信する対象の明確化を図ることにした。

著者は平成26年度ESD日米教員交流プログラムに参加し、米国人教員といくつかの共同プロジェクトを発足させ、取り組んでいる。そのプロジェクトを本研究の一部として位置づけ、進めていくことにした。

主にコミュニケーショントピックとしての「日本」に焦点を当て、「日本」を知るところから始め、自分たちなりに考えを深め、様々な相手に対して目的を意識して「日本」を発信するという活動に取り組むことにした。本研究プログラムを通して、生徒たちが、さらに広い視点を持ち、「日本」および日本が抱える今日的課題について自ら考え、発信できることを目指すとともに、コミュニケーショントピックの引き出しを豊かにすることも目指している。また、持続可能な開発のための教育(ESD)に英語科の視点から取り組んでいく視点を持ちつつ、それらの要素を融合的・統合的に扱い、「日本」およびその諸問題について、「知る・考える・発信する」課題解決型授業を開発・実践し、その成果

を検証・考察していきたい。

2. 研究仮説

本研究プログラムにおいて、以下の3点の研究仮説を設定した。

- (1) 生徒たちが、「日本」およびその諸問題について興味・関心を持ち、それらについて英語科の視点からアプローチすることで、生徒たちのツールとしての英語への学習意欲・動機を高めることができる。
- (2) コミュニケーショントピックとしての「日本」についての豊かさを増大させることにより、生徒の発信意欲を高めることができる。
- (3) 英語科の授業において、ESDの観点を活用した、「知る・考える・発信する」というコアサイクルを重視する課題解決型活動を行うことを通して、生徒は他者との協働性の重要性を認識し、グループ学習への意欲を高めることができる。

3. 研究方法（検証方法）

(1) 概要

- ①「日本」に関するトピックやESDの内容項目に関して興味関心についての調査を行い、実態を探る。
- ②調査を参考に、題材を選定し、授業で取り扱うねらいや方法、順序、単元計画などを考える。
- ③単元計画・授業案に従い、ワークシートを作成する。
- ④計画に基づいて授業や活動を実践する。
- ⑤生徒の記述したワークシート・レポートの内容、グループでの情報や思考、意見の共有化・深化、発信対象への英語でのプレゼンテーション（映像・ポスター・写真等）等を行う授業の活動の様子の映像記録やアンケート調査等により、活動の見取りや分析・検討・吟味・修正等を行う。
- ⑥活動をふり返るアンケートの内容から学習効果や目的を達成する内容であるか検証・考察する。

(2) 対象

お茶の水女子大学附属中学校 2014年度 第2学年

(3) 期間

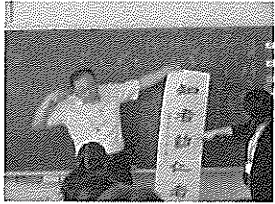

2014年度～2015年度（現在も継続中である。）

(4) 分析・検証対象

- ①授業中の活動の様子・反応
- ②ワークシートの生徒の記述
- ③観察や活動による成果物（レポートや映像等）
- ④各種アンケート調査（個人質問紙）

(5) 研究スケジュール（平成26年度科学研究助成費研究調査【研究計画】をベースに加筆修正）

期間	研究内容	授業・活動実践内容	備考
2014年 4月～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画を立案する。 ○「日本」に関する実態調査を行う。 ○ESDに関する実態調査を行う。 ○アメリカに関しての興味・関心調査を行う。 ○「平和」という言葉のイメージ調査 ○授業・活動の計画を立案す 	<ul style="list-style-type: none"> ○実践1 日本の「都道府県」・「スポーツ」を紹介しよう。 ○実践2 「英語エコ絵本」を制作しよう。 ○実践3 アメリカの生徒の質問に答えよう。 (Time Capsule Project) ○実践4 アメリカの生徒に質問しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度ESD日米教員交流プログラム日本教員派遣参加 ○平成26年度ESD日米教員交流プログラム（東京合同会議）参加・共同プロジェクト発足 ○アメリカの学校とやりとりをする。

<p>2014年 8月～ 12月</p>	<p>る。 ○実践1～4の分析と評価を行う。 ○他校の教育実践の情報を収集する。 ○教材作成のためのフィールドワークや資料・情報収集を行う。 ○研究会・学習会・学会等へ参加する。 ○授業・活動の計画を立案する。 ○ESDアンケートを実施する。 ○アンケート結果の分析と考察を行う。</p>	<p>(Time Capsule Project) ○実践5 アメリカの生徒に日本のシンボルを紹介するためのポスターを制作しよう。 (Peace Art Project) ○実践6 アメリカの生徒に日本や自分の学校を伝えるための映像を制作しよう。 (Active Citizenship Project) ○実践7 タイムカプセルをつくって送ろう。 (Time Capsule Project) ○実践8 同年代の中学生の書いたエッセーから問題を「知る・考える・発信する」 (Active Citizenship Project) ○実践9 ESDって何？ ○実践10 日本が抱える諸問題を「知る・考える・発信する」</p>	<p>○アメリカの学校とやりとりする。 ○中国教職員招聘プログラム訪問受け入れ(9/26)交流 国語(漢詩)・社会の授業</p>
		<p>○実践11 「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」アメリカの生徒に発信するためのニュース番組を制作しよう。(平成26年度 本校教育研究協議会 授業公開) ○実践12 世界遺産について学習しよう。 ○実践13 ミシェル先生に日本についてプレゼンテーションをしよう。 ○実践14 東京大学・大学院の留学生のみなさんと交流しよう。(第2弾)</p>	<p>  ○定期テストにESD、世界遺産を出題。 ○東京大学・大学院留学生との国際交流授業(12/16) 留学生21名・日本人学生4名 古市由美子先生 ○ドイツ・ケルン大学からの教育実習インターン生受け入れ</p>
<p>2015年 1月～3 月</p>	<p>○生徒への事後調査を行う。 ○実践5～14の分析と評価を行う。 ○他校教育実践(授業や取り組み)を視察し、情報交流を行う。 ○教材作成のためのフィールドワークや資料・情報収集を行う。</p>	<p>○実践15 海外の人に日本のアニメ・マンガを紹介しよう。 ○実践16 海外の人にオススメの日本のスポットを紹介しよう。</p>	
<p>2015年 4月以 降</p>	<p>○実践15～18の分析と評価を行う。 ○フィールドワークで得た情報や資料の教材化 ○全体の分析・評価を行い、授業実践モデルを整理する。</p>	<p>○ESDプロジェクトの継続実施 ○「知る・考える・発信する」サイクルの定着化を図るための課題・トピック設定 ○コミュニケーショントピックを拡げる・深めるための英語科授業の開発</p>	<p>○「平成27年度日米教員交流プログラム」出発前オリエンテーションでの実践発表を行う。 ○研究内容について、勤務校の研究紀要にまとめる。 ○研究の成果等については、所属学会などで発表したい。</p>

資料1 平成26年度「ESD日米教員交流プログラム」研修スケジュール

4月26日(土)	成田発～ワシントンD. C着
4月27日(日)	オリエンテーション、ワシントンD. C. 視察
4月28日(月)	CHESPAX 見学、歓迎夕食会

4月29日(火)	Burgunday Farm Day School 視察、ワシントンD. C. 発～マイアミ着
4月30日(水)	Doral Academy 視察、Earth Ethics Institute 視察
5月1日(木)	Ruth K. Broad School 視察、Fairchild Botanical Garden 視察
5月2日(金)	South Miami Middle Community School 視察、TERRA Environmental Academy 視察
	ホームステイ
5月3日(土)	ホームステイ
5月4日(日)	マイアミ発～ヒューストン着・発～サンフランシスコ着、合同会議夕食会
5月5日(月)	合同会議1日目
5月6日(火)	合同会議2日目、在サンフランシスコ日本国総領事公邸レセプション
5月7日(水)	合同会議3日目、自由研修
5月8日(木)	自由研修5月9日(金) サンフランシスコ発
5月10日(土)	成田着

資料2 ESD 日米教員交流プログラム 事前に設定した目標 (10月報告書より抜粋)

ESD 日米教員交流プログラム 日本教員米国派遣 報告書 (10月)

お茶の水女子大学附属中学校 中島義和

1. 事前に設定した目標

本プログラムにおいて、以下の目標を設定した。

以下の4点を意識した授業・活動のカリキュラム開発を目指せるよう、アメリカで行われている ESD 実践や先生方との交流から学びを得たい。また、共同プログラムを実践していきたい。

- ①現在私たちをとりまく地球規模の諸問題を認識、理解し、解決への方法を考える。
- ②「人権」への意識を広げ、考えを深める。
- ③多文化化・多人種化が進む社会において、その多様性を認識し、有意義なコミュニケーションをはかることができる。
- ④グローバル化する社会を生きる上で必要な自国「日本」について理解し、発信する基礎を育む。

資料3 ESD プロジェクト 著者が関わっている ESD 共同プロジェクトを表にまとめたもの

ESDプログラム 計画表			
プロジェクト名	TIME CAPSULE Project "The Changing World"	Active Citizenship Project	Peace Art Project
目的	1) For students in Japan and the U.S. to exchange information and thoughts through various items. 様々なアイテムを通して、情報や考えを交換する。 2) Across time and place, students share different ideas. 時間と空間を超えて、生徒たちが様々な考えを共有する。	1) For students in Japan and the U.S. to identify ESD action projects. 日米両国の学生が自分たちのESDアクションを作る。 2) To empower students to help bring about the future they want. 自分たちの望む未来を促している学生へとエンパワーする。	1) We will have our students draw symbols of their cities and countries in order for them to about their communities. 各地の都市や国のシンボルを子どもに描かせることにより、自分の住む地域について理解を深めさせる。 2) We will have students understand each other and draw posters about peace for them to enhance their awareness of coexisting. お互いのことを理解し、平和についてのポスターを描かせることにより、共生しようとする意識を育てる。
対象	8th-12th	Secondary 中学生・高校生	Secondary 中学生～高校生
交流手段	E-mail 電子メール・Mail 郵便	E-mail 電子メール	E-mail 電子メール
内容	Send boxes each other by ship. (In the boxes, we put items about students' works. They are letters, DVDs, news shows, compositions, writings about how they feel after reading something. The items which will be sent will be kept in the capsules which we will prepare. The time capsule contains relevant items to our area and generation. They will include information generations regarding ESD activities in our area. 1) それぞれの国に関して知り合いことや興味があることを調査し、リスト化し、電子メールで双方の教員が共有する。そして、それに答える挨拶や作品を制作する。 2) 自分の学校や年度のまわり、家、地域などの写真や絵、映画、ポップカルチャー、未来予想の手紙などタイムカプセルに入れて、送付したりする。 3) フィードバックを互い、受け合う。 4) 5年後にタイムカプセルを開ける。 Rob. Tsuyoshiの時間 Tsuyoshi 総合的な学習の時間 Yoshikazu 英語の時間	[STEP 1] Introductions Students will create an electronic introduction. Form bonds with students from other schools and countries. Involve school communities and ESD activities and dreams. Time frame: September - October 31st Students provide feedback and Q&A from November 1-15. [STEP 2] Choose ESD focus Research ESD topics that groups are interested / passionate about (local & global). Choose favorite to focus on. Timeframe: Nov 15 - Dec 20 *Possible research and action topics: Millennium Development Goals (MDGs) / Narita (Gionza) [STEP 3] Studenta Shares Project Idea Create outline of potential ESD action project, share with partner schools using common format. Timeframe: By December 20th Questions: What is your dream for a sustainable future? What problems need to be addressed to realize that dream? What action do you hope to take? How can your project contribute to solving the problem? [STEP 4] Feedback Students provide feedback on potential ESD Action Projects. Timeframe: Jan 1st - Jan 20th [STEP 5] Take Action! Complete and share projects with group. Timeframe: Jan 20th - Feb 20th Offer each other feedback (March) [STEP 6] Final Product At the end, we will create Group PowerPoints (one for each pair) Just them to make one introduction video of projects made from this project and publish it on Youtube.	1) To draw the symbol of the students' cities and countries. 自分の国や都市や国のシンボルを自由に描く(各国に生徒の写真、何の絵を描いたか説明は不要) 2) To exchange the symbols through the internet. 描いた絵を電子メールで交換する。 3) To research the partner cities and countries. 交換した絵から、各地のことを調べ、理解を深める。 4) To draw posters about peace. (To use the collage of the symbols) 平和についてのポスターを作成する。(交換した絵をコラージュなどで添付する) 5) To exchange their posters. 描いたポスターを電子メールなどで交換する。
スケジュール	e-mail: By Sep 22 mail: Nov 3 bury: Jan 13 open: Jan 13, 2020	[STEP 1] September - October 31st [STEP 2] Nov 15 - Dec 20 [STEP 3] By December 20th [STEP 4] Jan 1st - Jan 20th [STEP 5] Jan 20th - Feb 20th Offer each other feedback (March) [STEP 6] By the end of March in 2015	9月 シンボルのイラストを描き、交換する。 10月-11月 各地のことについて調べ、 12月 ポスターを交換する。
成果物		Project Results 1) Variety of Action Projects 2) Sharing of ESD activities and inspiration for future ones. 3) Ongoing communication and development of intercultural understanding and respect	
プロジェクトメンバー	Web: Tsuyoshi and Yoshikazu	Sara Krakauer and Yoshikazu Nakashima Brad Parker and Tomokuni Kinyu Jeff Blak, Jaska Leuenberger, and Tsuyoshi Nomura	Brad, Yussuke Yanagi, Celen, Miyoko Fujita, Yoshikazu Nakashima

Ⅲ 授業・活動の構想

1. 授業・活動のねらい

それまで学習してきた英語を活用し、様々な「相手」を意識し、「他者を受け入れ、理解するという姿勢や態度」や「自分の思っていることや考えていること、感じていることなどを積極的に相手に伝えよう（表現しよう）とする力」を身につけることをねらいとして行っている自分の英語科の授業の根幹を大切にしつつ、「日本」を「知る」ところから始め、「考える」機会を多く設定し、最終的に目的意識と問題意識をもって「発信する」という協働的課題解決型のプロジェクトの場と機会を通して、生徒の中に自律的学習意識や協働的課題解決意識が芽生え、その実践力が高まるのをねらった。

2. 授業・活動の構想

授業・活動では、以下のコアサイクルが実現されることをめざした。

★授業・活動実践で目指したいコアサイクル

- 「知る」…伝えたいことを調べたり、英語で表現するための基礎学習となる活動をしったりする。
- 「考える」…個人で考え、グループで考えを共有し、深める。
- 「発信する」…目的を明確にし、対象を意識して伝達・発信するとともに、相手を尊重して受容し、コミュニケーションを図る。

また、トピックやテーマ、発信の対象および方法としては、以下を想定した。

- トピック・テーマ：日本の都道府県、日本のスポーツ、世界遺産、アニメ・マンガ、日本のおすすめのスポット、日本が抱える諸問題
- 対象：クラスメート、小学校低学年の児童、アメリカの同年代の生徒、ALTの教員、海外からの留学生、海外からの教育実習インターン生
- 方法：対面型発表、映像録画発表、レポートやポスター

3. 授業・活動計画の際に意識したこと

授業・活動計画の際には、生徒たちが主体的・自律的・協働的に課題と向き合い、課題に取り組み、自分の住んでいる「日本」を見つめなおすとともに、日本を含む世界に存在する様々な事象に目を向けるきっかけとなるような課題設定・題材選択を意識して立案するようにした。これを通して、世界市民たる我々がよりよい社会を築くという共通の目的に近づくためには、ESDの視点に目を向け、取り組んでいくことが必要不可欠であることやESDの学習が極めて重要であることを認識させる構成となるように意識した。また、様々な活動を通して、ツールとしての英語の重要性を実感できるように工夫した。

Ⅳ 授業の実践報告

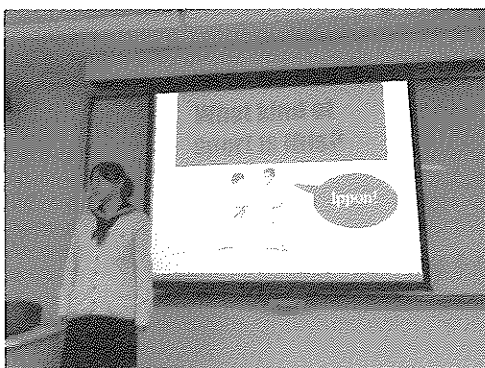
授業・活動として、以下の16の実践を行った。それぞれについて参考資料も紹介しつつ、報告する。

- 実践1：日本の都道府県・日本のスポーツを紹介しよう。
- 実践2：ESD実践授業「英語エコ絵本」を制作しよう。
- 実践3：アメリカの生徒の質問に答えよう。(Time Capsule Project)
- 実践4：アメリカの生徒に質問しよう。(Time Capsule Project)
- 実践5：アメリカの生徒に日本のシンボルを紹介するためのポスターを制作しよう。(Peace Art Project)
- 実践6：アメリカの生徒に日本や自分の学校を伝えるための映像を制作しよう。(Active Citizenship Project)
- 実践7：タイムカプセルをつくって送ろう。(Time Capsule Project)
- 実践8：同年代の中学生の書いたエッセーから問題を「知る・考える・発信する」(Active Citizenship Project)
- 実践9：ESDって何？
- 実践10：日本が抱える諸問題を「知る・考える・発信する」(Active Citizenship Project)
- 実践11：「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」(Active Citizenship Project)
アメリカの生徒に発信するためのニュース番組を制作しよう。(平成26年度 本校教育研究協議会にて授業公開)
- 実践12：世界遺産について学習しよう。
- 実践13：ミシェル先生に日本についてプレゼンテーションをしよう。
- 実践14：東京大学・大学院の留学生のみなさんと交流しよう。(第2弾)
- 実践15：海外の人に日本のアニメ・マンガを紹介しよう。
- 実践16：海外の人におすすめの日本のスポットを紹介しよう。

【実践1】日本の都道府県・日本のスポーツを紹介しよう。

日本の都道府県や日本のスポーツについて調べ、英語でプレゼンテーションを行う。発表後には、クラス全体で「良かった点」「改善点」等のフィードバックや感想・意見を共有することにした。

写真4 発表の様子



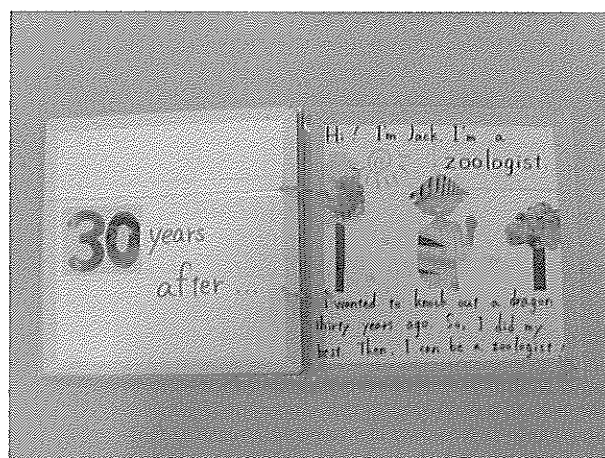
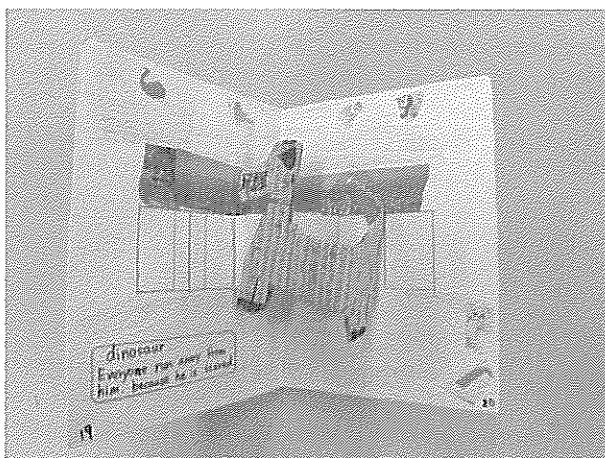
資料5 「"Know JAPAN!"&"Introduce JAPAN" Project」記録シート

"Know JAPAN!" & "Introduce JAPAN" Project		8th graders/2014
Name	Contents & Comments	Evaluation
1	大まかに内容を調べ、自分の国についてプレゼンテーションを行った。	内容が良かった。
2	小道具を使って、より分かりやすく説明した。	分かりやすかった。
3	写真や動画を使って説明した。	視覚的に良かった。
4	英語で説明した。	英語が上手だった。
5	日本の文化について説明した。	文化に興味があった。
6	日本の歴史について説明した。	歴史に興味があった。
7	日本の地理について説明した。	地理に興味があった。
8	日本の気候について説明した。	気候に興味があった。
9	日本の食文化について説明した。	食文化に興味があった。
10	日本の伝統文化について説明した。	伝統文化に興味があった。
11	日本の現代文化について説明した。	現代文化に興味があった。
12	日本の未来について説明した。	未来に興味があった。
13	日本の問題について説明した。	問題に興味があった。
14	日本の強みについて説明した。	強みに興味があった。
15	日本の弱みについて説明した。	弱みに興味があった。
16	日本の特徴について説明した。	特徴に興味があった。
17	日本の魅力について説明した。	魅力に興味があった。
18	日本の個性について説明した。	個性に興味があった。
19	日本の独自性について説明した。	独自性に興味があった。
20	日本の多様性について説明した。	多様性に興味があった。
21	日本の豊かさについて説明した。	豊かさに興味があった。
22	日本の貧しさについて説明した。	貧しさに興味があった。
23	日本の平和について説明した。	平和に興味があった。
24	日本の戦争について説明した。	戦争に興味があった。
25	日本の経済について説明した。	経済に興味があった。
26	日本の政治について説明した。	政治に興味があった。
27	日本の社会について説明した。	社会に興味があった。
28	日本の文化について説明した。	文化に興味があった。
29	日本の歴史について説明した。	歴史に興味があった。
30	日本の地理について説明した。	地理に興味があった。
31	日本の気候について説明した。	気候に興味があった。
32	日本の食文化について説明した。	食文化に興味があった。
33	日本の伝統文化について説明した。	伝統文化に興味があった。
34	日本の現代文化について説明した。	現代文化に興味があった。
35	日本の未来について説明した。	未来に興味があった。
36	日本の問題について説明した。	問題に興味があった。
37	日本の強みについて説明した。	強みに興味があった。
38	日本の弱みについて説明した。	弱みに興味があった。
39	日本の特徴について説明した。	特徴に興味があった。
40	日本の魅力について説明した。	魅力に興味があった。
41	日本の個性について説明した。	個性に興味があった。
42	日本の独自性について説明した。	独自性に興味があった。
43	日本の多様性について説明した。	多様性に興味があった。
44	日本の豊かさについて説明した。	豊かさに興味があった。
45	日本の貧しさについて説明した。	貧しさに興味があった。
46	日本の平和について説明した。	平和に興味があった。
47	日本の戦争について説明した。	戦争に興味があった。
48	日本の経済について説明した。	経済に興味があった。
49	日本の政治について説明した。	政治に興味があった。
50	日本の社会について説明した。	社会に興味があった。
51	日本の文化について説明した。	文化に興味があった。
52	日本の歴史について説明した。	歴史に興味があった。
53	日本の地理について説明した。	地理に興味があった。
54	日本の気候について説明した。	気候に興味があった。
55	日本の食文化について説明した。	食文化に興味があった。
56	日本の伝統文化について説明した。	伝統文化に興味があった。
57	日本の現代文化について説明した。	現代文化に興味があった。
58	日本の未来について説明した。	未来に興味があった。
59	日本の問題について説明した。	問題に興味があった。
60	日本の強みについて説明した。	強みに興味があった。
61	日本の弱みについて説明した。	弱みに興味があった。
62	日本の特徴について説明した。	特徴に興味があった。
63	日本の魅力について説明した。	魅力に興味があった。
64	日本の個性について説明した。	個性に興味があった。
65	日本の独自性について説明した。	独自性に興味があった。
66	日本の多様性について説明した。	多様性に興味があった。
67	日本の豊かさについて説明した。	豊かさに興味があった。
68	日本の貧しさについて説明した。	貧しさに興味があった。
69	日本の平和について説明した。	平和に興味があった。
70	日本の戦争について説明した。	戦争に興味があった。
71	日本の経済について説明した。	経済に興味があった。
72	日本の政治について説明した。	政治に興味があった。
73	日本の社会について説明した。	社会に興味があった。
74	日本の文化について説明した。	文化に興味があった。
75	日本の歴史について説明した。	歴史に興味があった。
76	日本の地理について説明した。	地理に興味があった。
77	日本の気候について説明した。	気候に興味があった。
78	日本の食文化について説明した。	食文化に興味があった。
79	日本の伝統文化について説明した。	伝統文化に興味があった。
80	日本の現代文化について説明した。	現代文化に興味があった。
81	日本の未来について説明した。	未来に興味があった。
82	日本の問題について説明した。	問題に興味があった。
83	日本の強みについて説明した。	強みに興味があった。
84	日本の弱みについて説明した。	弱みに興味があった。
85	日本の特徴について説明した。	特徴に興味があった。
86	日本の魅力について説明した。	魅力に興味があった。
87	日本の個性について説明した。	個性に興味があった。
88	日本の独自性について説明した。	独自性に興味があった。
89	日本の多様性について説明した。	多様性に興味があった。
90	日本の豊かさについて説明した。	豊かさに興味があった。
91	日本の貧しさについて説明した。	貧しさに興味があった。
92	日本の平和について説明した。	平和に興味があった。
93	日本の戦争について説明した。	戦争に興味があった。
94	日本の経済について説明した。	経済に興味があった。
95	日本の政治について説明した。	政治に興味があった。
96	日本の社会について説明した。	社会に興味があった。
97	日本の文化について説明した。	文化に興味があった。
98	日本の歴史について説明した。	歴史に興味があった。
99	日本の地理について説明した。	地理に興味があった。
100	日本の気候について説明した。	気候に興味があった。

【実践2】「英語エコ絵本」を制作しよう。

ESDの観点の一つである環境分野での取り組みとして行った。2学年で学習した3R (Reduce, Reuse, Recycle) を思い出し、エコの要素を取り入れた英語絵本を制作した。対象読者としては小学校低学年までの児童を想定し、教訓となる内容を織り込んで登場人物やストーリーを考え、制作した。写真6にあるように新聞紙やペットボトルなどを再利用して制作した作品が多くあった。

写真6 英語エコ絵本



【実践3】アメリカの生徒の質問に答えよう。(Time Capsule Project)

ESD 共同プロジェクトの一つである「Time Capsule Project」の相手校の生徒から送られてきた「日本について知りたいこと」に関する質問に英語で答える。アメリカの交流相手校では、日本の「学校」・「生活」・「文化」に興味・関心を抱いている生徒が多かった。アメリカの生徒の質問に答えることを通して、自国との共通点や相違点を見出す良い機会となり、まさに、異文化理解の絶好のチャンスとなった。

資料7 アメリカの生徒たちからの質問に答える内容のワークシート

Questions from students in America	Answers from students in Japan
Sports 1. What is the most popular sport in Japan? 2. What is the most popular sports team in Japan? Food 3. What's the most popular food in Japan? 4. Do you like American food? What's your favorite American food? School 5. What kind of school schedule do you guys have? 6. What's one thing you like and dislike about your school? 7. What foreign languages do you learn in school? 8. Is your school harder or easier than American schools? 9. What days do you not go to school? 10. Do they have math/science/literature/history classes like we do in America? 11. What sports do you play in school? Life/Culture 12. What do you like to do after school? 13. What are some of your favorite books? 14. What's your favorite movie and why? 15. Name the most famous actor and singer in Japan right now. 16. What's your favorite clothing brand to wear? 17. What do you think Americans are like? 18. Where do you and your friends go to hangout? 19. What television shows do you watch? 20. Right now One Direction is really big in America do you know who they are? 21. Would you like to work in the United States? 22. What's your favorite American band or singer? 23. What are some things that Americans do that you think is weird or strange? 24. Who is the biggest Japanese fashion designer? 25. What do you think about American movie influencing Japanese culture? 26. What is the weather like where you live? 27. What is a popular thing to say in Japan that only teens say to each other? 28. Is Sony the most popular company in Japan? If not, then which company do you find very popular in your country? 29. Is there an American that is very popular in Japan? 30. What are your favorite singers or bands in Japan? 31. Do you watch any American shows? If yes, which ones? 32. What kind of special festivals or events happen in Japan? 33. What are you most proud of about being Japanese? 34. How has Japanese culture been altered by other cultures in the past ten or so years? 35. What do you think is the biggest influence American culture has had on Japan? Political 36. Is your country affected by North Korea's actions? 37. Which do you value more: social obligations or political obligations? Why? 38. In what ways do you feel the Japanese government differs from the American government? 39. What type of government does Japan have?	Choose 5 questions from these 39 questions and answer them in English No. 1 7 1 Answer We learn English. English is difficult for us, but we like it. First, we listen to the dialog between the characters. Then, we learn grammar and remember the dialog. It is practical. No. 1 12 1 Answer I like to do club activities. Almost students belong to the club. There are many kinds of club, Basketball, soccer, tennis, art, drama, calligraphy, science and other clubs. No. 1 21 1 Answer Yes, I would. I think that America is a place where brilliant people work. Also, there are many major companies, too. America is an attractive country. No. 1 32 1 Answer We have many festivals in each seasons. For example, in spring, we have Ohanami. It's an event which we enjoy a cherry blossom-viewing picnic. It's a lot of fun. No. 1 35 1 Answer I think it's a democratic government. After the war we made the Japanese Constitution. In the Constitution, we write a democracy clearly. Class 2-k No. 27 Nam. _____ Junior High School of Ochanomizu University, Tokyo, JAPAN

【実践4】アメリカの生徒に質問しよう。(Time Capsule Project)

ESD 共同プロジェクトの一つである「Time Capsule Project」の相手校の生徒に「アメリカについて知りたいこと」に関する質問を英語で考える。本校では、「食」・「文化」・「歴史」・「政府・国」・「娯

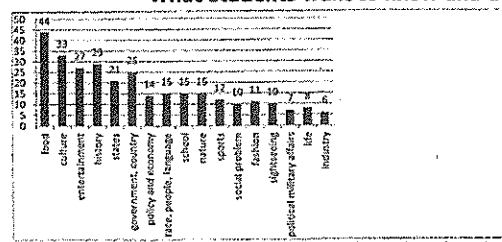
楽」に興味・関心を持った生徒が多かった。

資料8 アメリカの生徒たちに質問したいことをまとめたワークシート

ESD worksheet

What students want to know and are interested in about America

Junior High School of Ochanomizu University
Sep. 2014



NO.	Theme	Questions
1	food	What do you eat on Thanksgiving day?
2	culture	What do you think of the difference about Japanese culture and American culture.
3	entertainment	Do you really believe in the existence of Bigfoot?
4	history	Do you know some history about Japan?
5	states	There're 50 states in America. What do you think of the states has the largest population.
6	government/country	Who do you think the next president of America will be?
7	policy and economy	Do you have any policies when you buy things.
8	race, people, language	Which people are a lot in America, African-American or white.
9	school	Will you tell me what school events you have in your school?
10	nature	What do you think of the nature and animals?
11	sports	Have you ever tried to do Japanese sports like Judo etc?
12	social problem	Are there social problem in America?
13	fashion	What do you think most Americans favorite clothing brand
14	sightseeing	Are you supposed to think where you'll take them if your Japanese friends will come to here for
15	political/military affairs	What do you think of American politician?
16	life	Do you enjoy your life right now? Why?
17	industry	What do you think of the American industry?


Let's choose 10 themes (from 1 to 17) and make 10 questions about them.

【実践5】アメリカの生徒に日本のシンボルを紹介するためのポスターを制作しよう。(Peace Art Project)

ESD 共同プロジェクト「Peace Art Project」の相手校に送るための日本のシンボルを紹介するためのポスターを英語で制作した。また、このプロジェクトを始めるにあたって、「平和」ということばからどのようなことをイメージするかを考えた。

資料9 Peace Art Project ポスター

"Peace Art Project"
Symbol of my city or country



Explanation in English
This is katana. The Samurai is soldier that they were in Japan long time ago. They enjoy the peace and they had thought of them own they don't open even their lives to the world. This is "Katana". A different way with "Katana" is open their lives or don't apply it. I wish "Katana" is looking to fulfill the responsibility a Samurai today. Samurai's "Katana" is original symbol in Japan.

Explanation in Japanese
この武器は、徳川幕府の時代から、武士の象徴として存在し、戦国時代から明治維新まで、武士の精神を象徴する重要な役割を果たした。また、このプロジェクトを始めるにあたって、「平和」ということばからどのようなことをイメージするかを考えた。

Class R No. 3
Name
Junior High School of Ochanomizu University

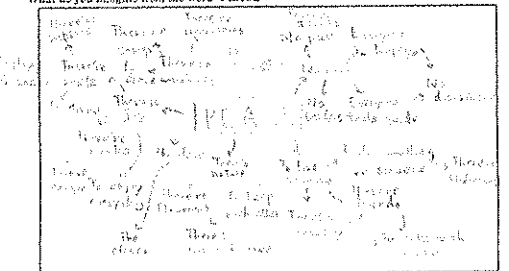
資料10 「平和」のイメージ

ESD 学習プリント 英語文化理解・平和
20140703 実施
行楽の森女子大学附属中学校 2年生対象

1. あなたが「アメリカ」について興味があること、知りたいことを挙げてみましょう。
What are you interested in about American? What do you want to know about America?

I'm interested in movies. So I'm interested in the business in Broadway and Hollywood. I want know about that.
I'm also interested in the American history especially the Civil War. Because I watched a movie of "Gone with the Wind". It was very interesting and exciting. So I want know more about it this time.

2. 「平和」ということばからイメージすることを絵に示してみましょう。
What do you imagine from the word "PEACE"?



【実践6】 アメリカの生徒に日本や自分の学校を伝えるための映像を制作しよう。(Active Citizenship Project)

ESD 共同プロジェクト「Active Citizenship Project」の相手校に送るための、日本や自分の通っている学校について紹介する映像を制作する。制作については、学習グループで構想を練り、それを英語学習リーダーの進行で発表会の形で録画を行った。完成した映像はグーグルドライブを活用し、共同プロジェクト参加の全学校のものが見覧、共有できるようにした。

資料 1 1 Active Citizenship Project「日本や自分の通っている学校紹介の映像を制作しよう」ワークシート

"Active Citizenship Project"
Let's create an electronic introduction of our school or communities (cities or countries).

To whom: Students in America

What: Comparing Japanese and American schools

How: 2-minute presentation

Japan		U.S.A.
~ lunch	same	cafeteria and same
clothes	different	national outfits
uniforms	different	make-up, nail polish, coloring
make-up	different	plastic clothes
plastic clothes	different	new use
new use	different	more time than to check school bus

④ We will talk about what we thought about the differences of Japanese and US schools.

⑤ We will use the fact that there are two people who want to live in the US, in our group.

⑥ First, about lunch
In the US, most students eat cafeteria food. It's very delicious.
Do you have that in Japan too?

⑦ No, we don't. In Japan, students bring lunch boxes called "bento".

⑧ Next, about fashion.
In the US, we wear make-up, and nail polish and so on. Also, we wear clothes that we like and enjoy fashion at school. How about Japan?

⑥ We cannot wear make-up or nail polish to school at all. Also, most schools have uniforms, therefore, we cannot enjoy fashion at school.

⑦ We see there are many differences in Japanese and U.S. schools.

⑧ That's very interesting! I want to learn more about schools in Japan.

Group	Contents	Comments
A	Japanese festival foods	very good presentation
B	Japanese festival foods	very good presentation
C	Events during the year/many interesting photos around the year	very good presentation
D	About the 4 seasons in Japan	very good presentation
E	About the day in school	very good presentation
F	My friend's nature	very good presentation
G	Year events	very good presentation
H	school life	very good presentation
I		

Reflection
It was a very interesting class. Listening to other groups was very fun. Also, it was nice to feel that Japan has many great things. Our group presentation was a little busy. I think it was well made but wasn't well presented. It was a little disappointing.

Class R, No. 32, Group B Name

写真 1 2 映像制作に向けて話し合ったり、準備をしたり、発表をしたりしている様子



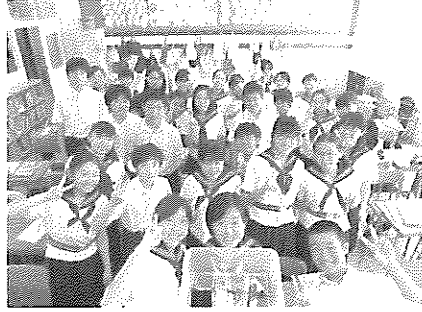
【実践7】 タイムカプセルをつくって送ろう。(Time Capsule Project)

共同プロジェクト「Time Capsule Project」の両校の生徒たちが「今の私、国や地域、周りの環境」を象徴する写真・手紙、ものを入れたタイムカプセルを制作し、郵送で送りあった。送られてきたタイムカプセルから双方の生徒がどのようなことに興味・関心を抱いているかを知る。5年後に双方の学校でタイムカプセルを開け、情報を共有し合う予定である。また、本プロジェクトの一環として5年後、10年後、20年後の自分の周り自分自身を予想し、英語で記述する活動も行った。

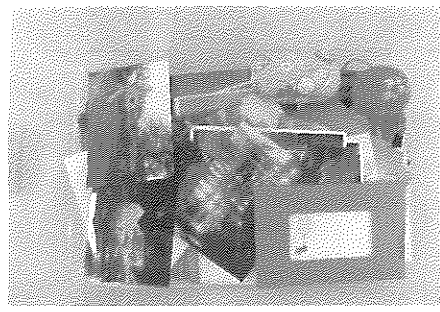
写真 1 3 Time Capsule Project



タイムカプセルに写真などを
入れている様子



タイムカプセル完成！



アメリカに送ります。

資料 1 4 アメリカの相手校から届いたタイムカプセルの中に入っていた手紙

Dear Japan Students,

My name is Kimberly Chacon and this is my 17 year-old life. I've only lived in the Rio Grande Valley for about six or seven years. I was born in Los Angeles, California, and then moved to Atlanta, Georgia shortly after. I came to The Rio Grande Valley at the age of maybe 12 or 13. I was really scared because I thought that I was literally going to live on a farm, the way Texas is portrayed in common films. I was wrong. It is actually a great place to raise a family and I'm glad my parents decided to move here. We moved into a very nice house where I have my own room. My two brothers share a room because since they're boys, it doesn't really matter and my parents have the biggest room of them all. Starting school wasn't so hard. I was able to make friends very fast by joining plenty of after school associations like Sports and the Drama Club. I would also hang out with my friends after school. Sometimes we would go to the movies or maybe go shopping at the mall.

My first couple of years in high school I continued to play sports. I was Team captain of my freshmen volleyball team while also being a member of Varsity swimming. In the tenth grade I decided to go back to being in Drama and I competed in the "One Act Play". This is a 30 minute theatre production that competes against other schools in McAllen, Texas. I am currently a member of KMAC, which is the class that gave me an opportunity to share my life with you. KMAC is an Audio Video Production class where I've gained quality experience in video production. I've learned to create music videos, Movie trailers, short stories, newscasts, and because I am my school's sport director, I've also learned to create highlights for any sport event. This class has also taught me the needed skills to be a great presenter and has given me the necessary tools to be successful with future opportunities. When I'm not busy with any of my KMAC work, I enjoy bike riding to a friend's house or grabbing an ice cream cone after a warm day since the weather is tends to get a slight fiery.

My life in the Valley has been remarkable in the best way. I feel connected with everyone in my community. I enjoy seeing people I know whenever I go to my local grocery store or for a walk at the nearest park. It gives me a sense of security knowing that everyone is close by. Being able to see my friends everyday keeps me blissful. I enjoy being surrounded by great people on an everyday basis and I hope reading this has given you some insight on what my life has been like in the Rio Grande Valley.

Sincerely,
Kimberly Chacon

Hello,

My name is Jackson Scroggin. I am a senior at McAllen High School in McAllen, TX, USA and I am a big fan of sports. I usually root for the Kansas City teams, for that is where my dad was born and raised so these are the teams he has always cheered for, and I quickly tagged a long. As a fan of sports in general, the past few weeks have been crazy. Baseball postseason just started, and luckily, my team- the Kansas City Royals- were able to sneak their way in. The Royals had not been in the playoffs since 1985, when they beat the St. Louis Cardinals in the World Series. Since then, the Royals suffered the longest drought in past season history of all sports - 29 yrs. Making the playoffs was not the only thing they had planned, however. In an amazing comeback defeat, the Royals topped the Athletics 9-8 in a game where the Royals were down 7-3 in the 6th inning. That moved the Royals on to the American League Division Series where they swept the Los Angeles Angels. Each of those games had my house going nuts, with my dad and myself screaming with each win. The Royals now play the Baltimore Orioles in the American League Championship Series, and with the exception of part of the first game, I will be watching.

The reason I can only watch part of the first game, is because I will be helping out with the broadcast of our high school's football game this Friday. We are playing our crosstown rival, McAllen Rowe, and I will be helping out in the production truck: learning what goes on behind a broadcast, while also doing occasional in game reporting from the sideline. I have also spent the year interning at a local newspaper, The Monitor, absorbing knowledge from their sports reporters and editors, while also helping run their website RGVsports.com. My goal is to eventually become a play by play broadcaster for the NFL, NBA, or MLB. That would combine two of my favorite things in traveling and following sports. I plan on pursuing this by studying broadcast journalism in college while additionally helping out with school radio/tv.

Outside sports, I have spent the year working on becoming an Eagle Scout, the highest rank in scouting. Scouting has taught me many values, but I credit South Texas for providing a multi cultural environment that has allowed me to grow and understand friends with all kinds of different backgrounds. Being Anglo, I was in fact a minority here in South Texas. Most of my friends are Hispanic and jokingly will refer to me as white boy, and I have learned to not take offense, but when I am away from my home I know the issue is not a joking matter and that I should treat other minorities with respect.

Jackson Scroggin

資料 1 5 Time Capsule Project "The Changing World"ワークシート

5年後、10年後、20年後の自分の周り自分自身を予想して

ESD 学習

TIME CAPSULE Project
"The Changing World"

1. What did you choose for the time capsule? And why?

<p>(Tokyo Disney Sea) Subjects are my friends in Tokyo Disney Sea. I chose it because human must change in the future. I wanted to make memories with them.</p>	<p>(A view from my room) I took a picture of a view from my room because I want to know change from now in the future. There is moon in the picture. I want to see change of the shape of the moon.</p>
---	---

2. How do you imagine about the situation around you and yourself in the future?

	the situation around you	yourself
in 5 years	We have The Tokyo Olympics in 2020. So, I think that we must study English for communication hard in 5 years. Let's study it!	I want to go to university in 5 years. I want to be public official. So, I must study hard. I do have studying part time.
in 10 years	People around me get married in 10 years. Some people have a baby. I am looking forward to seeing my friends baby.	Maybe I don't get married. I can't imagine! Anyway, I work all the time. I don't have a boy-friend.
in 20 years	Many parents are both working. I think that there are no full-time housewives in 20 years. People are so busy.	Maybe I go to Iceland because I have much money in 20 years. I want to go Iceland very much. I think so now too. I want to see aurora there.

ESD 学習

TIME CAPSULE Project
"The Changing World"

1. What did you choose for the time capsule? And why?

① public telephone
Public telephones are used from 1990. It was red then. And Japanese was low. In 1992, cord type public telephones was made. Telephone program. So I think public telephones will change six years later.

② mailbox
Mailboxes are used from 1971. It was black and square. Now, we often use e-mail. I think mailbox will disappear six years later. But I don't know it.

2. How do you imagine about the situation around you and yourself in the future?

	the situation around you	yourself
in 5 years	2019 - Consumption tax will be 10%. - Tomatoes will be digital. - Children will have can PC. - There're many elderly people. - Prices will up.	19 years old - I will be a university student. - I will go to Canada to study. - I will do volunteer Tokyo Olympic. - I will work part time to pay money.
in 10 years	2024 - Machines will be voice input. - There will be bicycle's road. - Dogs will be able to run on the road. - English will be important in everyday life. - There will be many round bikes.	24 years old - I will work in a company. - I will go to many places alone. - I will donate it. - I will play the piano or guitar. - I will enjoy my life!!!
in 20 years	2034 - People will fly in the sky! - Global warming will be bad. - We will go to foreign countries in a day. - Robots will do housework.	24 years old - I'll be a mother. - I'll have two children. - I will travel plane. - I will go to Europe with my family to see a castle.

【実践 8】 同年代の中学生の書いたエッセーから問題を「知る・考える・発信する」(Active Citizenship Project)

資料 1 6 教材として扱ったエッセー

ESD worksheet

Let's read this essay.

Tourism of Okinawa that I think

2nd Grade, Irbabu Junior High School by Yuina Miyaguni

My house is a B&B in Irbabu Island because of this environment I have an opportunity to meet many people who come from the mainland of Japan.

We guide the visitors to the tourist sites in Irbabu Island, such as blue ocean, Tort-ike (pond), the place where we can see a star-studded sky. Furthermore, we talk with the visitors about the history of Okinawa and give them a breakfast and a dinner by Okinawan dishes too. It seems the tourists are happy through coming into touch with the nature of Irbabu Island in Okinawa. They enjoy swimming at the beach, talking about many things while looking up at a starry sky and laughing at each other. They also like Okinawan dishes, which is only available on this island and say, "Tastes good", and have their bowls refilled several times. In addition, when I talked about the history of Okinawa, they felt really curious about the islands in Okinawa. On the final day, some tourists said with tears, "I don't want to return to my city". Some of them who had a linking to this island moved here.

This is the reason that I want to improve tourism in Okinawa to be more splendid because I want to delight our visitors as well as more tourists who come from outside Okinawa.

I suppose that we have not expressed enough about the feature of tourism of Okinawa at the present. This is because we are living in Okinawa and do not have many interests about the tourism of Okinawa. The beaches and coral reefs have been destroyed by the developments of resort hotels and the nature of Okinawa has been also polluted by a range of rubbish. We need to think more about the tourism through the perspective of attractions of Okinawa and also treat more the current nature of Okinawa rather than focusing on tangible objects such as the development of resort hotels.

The most important thing is to accelerate the visitors to think that "Okinawa is beautiful" or "they want to visit Okinawa again". It is important to produce the space where the visitor can relax and enjoy the nature and the culture of Okinawa in order to attract repeaters to Okinawa.

I think that the natural environment of Okinawa and the gentility and the warmth of people from Okinawa may naturally become a healing space and provide an extra-fine slow life.

I also suppose that *Chimugokura* (great hospitality) is the highest hospitality that can make "a comfortable space" where travelers can relax to a great mood of wind and a gentle stream while strolling.

We give them hospitality by making a variety of feelings that the simple Okinawan characteristics and a proper island life that is always in front of us rather than a variety of facilities established by huge plans. This is my aim of "tourism" that we make the places and times that people connect with each other through Okinawan dishes, the history, the culture, and vegetables and fruits that grew, bathed greatly in the sunlight, as well as the beaches and flowers.

I think that the hope that people have built up through their everyday life over many years in the long history of this island will be carried on our everyday life. We who were born in Heisei (the current era in Japan) have a mission to realize this hope.

Our ancestors protected the nature and continued to have the gentle mind of "*Chimugokura*" in the difficult time for them. We have to succeed to the next generation regarding the nature that has been handed down from our ancestors and the warm heart that have been given from our granddad and grandma.

We need to mix with a variety of people in different cultures through the tourism in order to know about the nature and the warmth of Okinawa. This is an important thing for us because we can make a trip that we can realize the fear of this island too.

Let's maintain "the hearts of Islanders" and continue to protect "the beautiful island!".

沖縄の観光業に関して、沖縄の中学2年生が書いた英文エッセー(スピーチ)「Tourism of Okinawa that I think」を学習班で分担して読み、そのエッセーから問題点・課題点を読みとる(知る)。グループごとに問題点について考え、クラス全体で共有する。以後、【実践9】～【実践11】へとつなげていく。

写真 1 7 グループで活動の様子



グループで分担して、英文エッセーを読んでいます

【実践9】ESDって何？

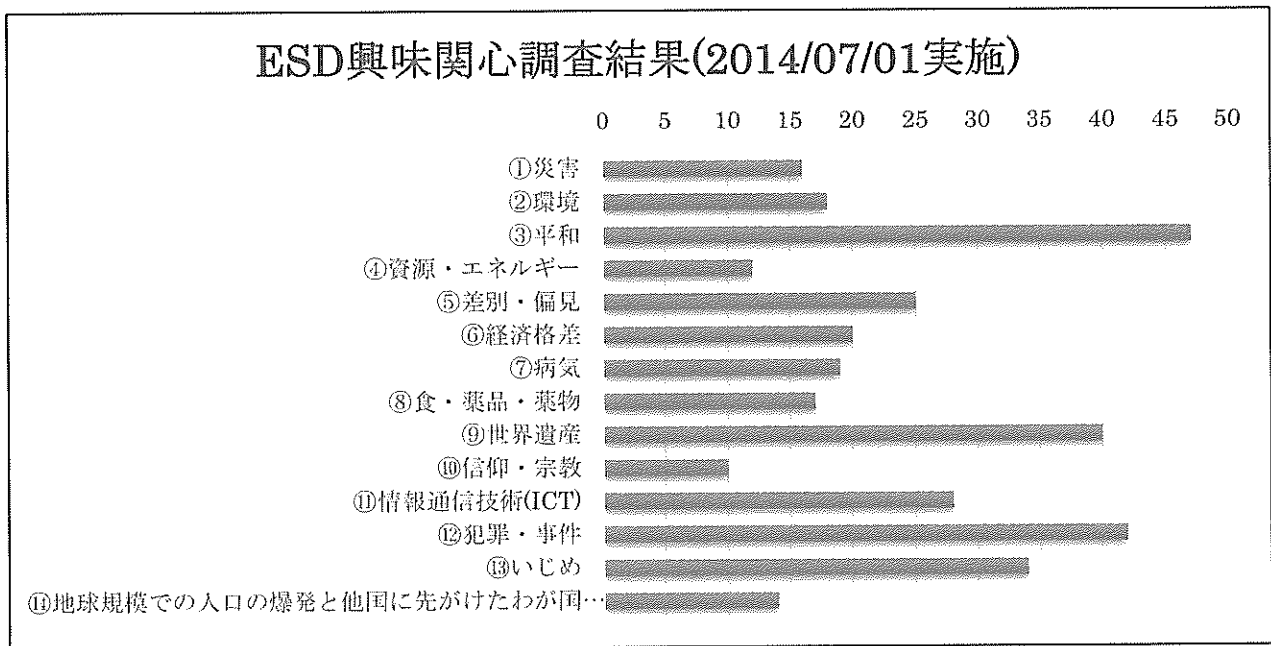
これまでに行ってきた【実践1】～【実践8】の活動をふり返り、ここで初めてESDという考え方について説明する。初期に実施したプレアンケートがESDの観点であったことも説明する。

資料18 ESD学習プレアンケートの項目（2014/7/1実施）

アンケート:以下の項目(成田喜一郎氏による)から興味のある分野を選択するもの

- ① 災害：地震・津波・竜巻などの自然災害や原発事故に伴う原子力災害
- ② 環境：地球温暖化をはじめとする環境破壊・公害
- ③ 平和：戦争・紛争・テロ、生物化学兵器・対人地雷・不発弾・核兵器
- ④ 資源・エネルギー：水資源、原子力・石油・石炭・水力・太陽光・風力等の開発のゆくえ
- ⑤ 差別・偏見：人種・民族、性の違い、障がいなどを理由とする差別・偏見の加害や被害
- ⑥ 経済格差：途上国・先進国間、各途上国・先進国内の格差の拡大・貧困
- ⑦ 病気：HIV・エイズ、鳥インフルエンザなど感染症などの疾病
- ⑧ 食・薬品・薬物：生命を維持させるはずの食・食糧、諸刃の剣である薬品・薬物
- ⑨ 世界遺産・地域遺産：その保護や破壊
- ⑩ 信仰・宗教：その布教と対立をめぐる問題
- ⑪ 情報通信技術（ICT）：PC・インターネット・携帯電話、SNSの利便性と危険性
- ⑫ 犯罪・事件：地域や学校などを舞台に起こる様々な犯罪・事件
- ⑬ いじめ・体罰や虐待：学校や家庭などで後を絶たないいじめ・体罰や虐待
- ⑭ 地球規模での人口の爆発と他国に先がけたわが国の〈超高齢・人口減少社会への突入〉

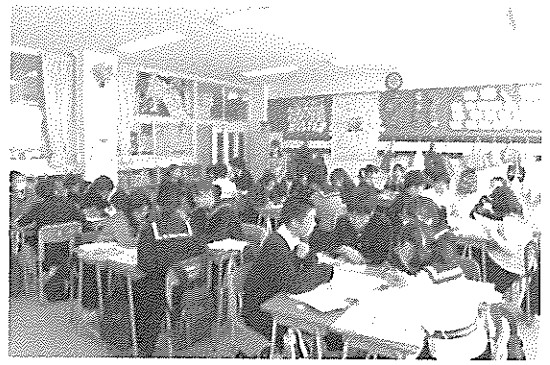
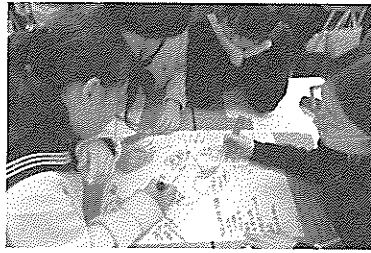
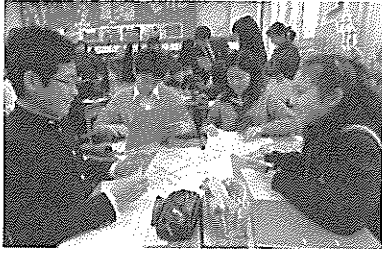
資料19 ESD学習プレアンケートの結果（2014/7/1実施）



【実践10】日本が抱える諸問題を「知る・考える・発信する」(Active Citizenship Project)

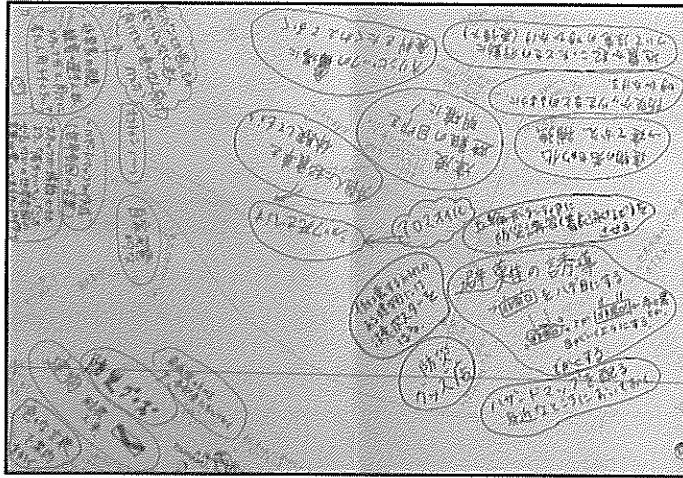
【実践8】で扱ったエッセーとESD学習プレアンケートをふり返り、自分たちの暮らす日本・東京に目を向け、その今日的課題を見出す。2020年には、東京でオリンピックが開催されることを視野に入れて、今後、私たちはどのような国・まちづくりが求められるのかをあわせて考える。個人で考え、グループで課題を設定し、その課題について話し合いを通して考えを深め、発信できる提案を含めてまとめる。その際、思考ツール・発想ツール（ベン図、Xチャート、ボーン図、P&Sシート、マンダラート）を活用しつつ、「ワールドカフェ」方式で、学習班で意見を交流し、グループで扱う課題を決定し、その課題についての考えを深めていく。

写真20 学習の様子

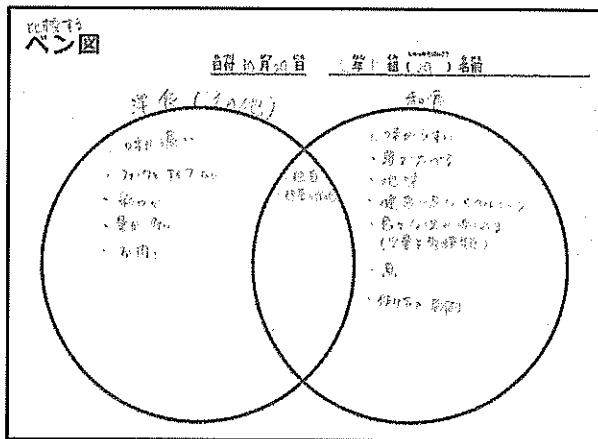


「ワールドカフェ」の方式で、思考ツール・発想ツールを活用してグループで話し合いをしています

←「ワールドカフェ」記録



資料21 思考ツール 『思考ツール』関西大学初等部、『こうすれば考える力がつく！中学校思考ツール』滋賀大学教育学部附属中学校 参考)



問題と解決法を「整理」

P&Sシート

自研10月29日 2年B組(38)名前

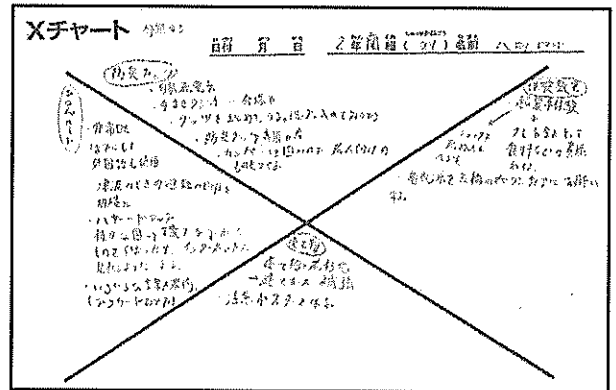
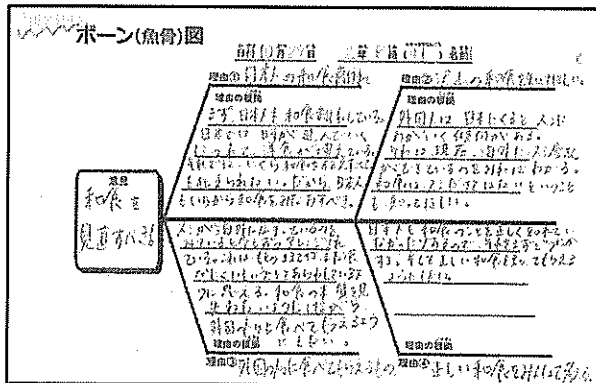
Washoku

課題: 和食を外国人に広めよう!

Problem どんな問題があるか	Solution どのように解決するか
日本人が和食離れしている!	時代に合わせて、おしなせを改良していく!
外国人にとって、和食は食べづらい!!	高級なものをもっと安くしてほしい。 身近にすることのできる食材を用意が広める。
和食以外の和食の認知度が低い	

↓

My challenge (自分がこの問題に取り組むためにしたいこと)
日本の食を最大限に広げていくための3 challenge!
1. まず身近に和食を普及させる。家で和食をたくさん作ることで和食をたのしむ。
2. 和食の魅力を外国人に伝える。和食を広める。
3. 外国人に和食を食べてもらうように、和食の魅力を外国人と交流し、その現状を日本全国に広げていく!



【実践11】「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」(Active Citizenship Project)
 アメリカの生徒に発信するためのニュース番組を制作しよう。(平成26年度本校教育研究協議会授業公開)

【実践10】での一連の学習をアメリカの生徒(対象)に日本のことを知ってもらうため(目的)にニュース番組の形で発信する。構想したことをもとに、表現に工夫を凝らしニュース番組原稿を作成する。また、調べたことや班での話し合いの内容をわかりやすく伝えるために、ICTを活用しパワーポイントを制作する。発表会では、英語学習リーダーが進行やタイムキーパー、録画などの役割を担い、生徒が主体的に番組を制作する。なお、その番組制作の過程のうち、最終時の発表会を本校平成26年度教育研究協議会(2年蘭組)にて授業公開した。

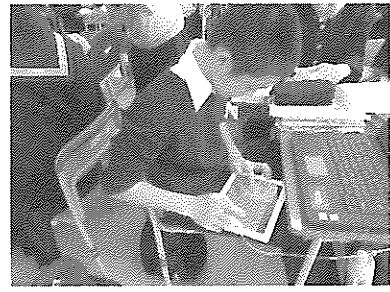
写真22 活動の様子



辞書を活用しています。



パソコンを活用してまとめています。



i-Padを活用して調べています。



英語学習リーダーが説明しています。



発表会しているところです。

資料23 発表会のテーマの例

2年菊組「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」発表会
 Group A: Transportation
 Group B: 2020 Tokyo Olympics
 -Problems to be solved-
 Group C: Things we need to do by 2020
 Group D: Things we can do until 2020
 Group E: Tokyo Olympic 2020
 Solutions for religious problem
 Group F: Improvement of streets
 Group G: Let's enjoy Japanese festival

資料24 発表会ワークシート

SSB Presentation of our news

□What we will do in this lesson
 prepare for presentation and do it

□The goals of this lesson
 (1) Present on stage. Content
 (2) Attitude as Audience

□After watching the presentations

group	Theme	Content
A	God's Kingdom	
B	Japan's history	
C	Japan's culture	
D	Improvement of streets	
E	Let's enjoy Japanese festival	
F	Let's enjoy Japanese festival	

□Reflection of your presentation

□Evaluation

group (1)	5	4	3	2	1
group (2)	5	4	3	2	1

Class 2 No. 38 Name

資料25 教育研究協議会 公開授業「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」学習指導案

平成26年度 教育研究協議会 (2014/10/31) 学習指導案集より

- 1 題材・単元名 「生徒が『考創』する時間<ESDプロジェクト>」
- 2 題材・単元のねらい

2005年から2014年の10年間は、「持続可能な開発のための教育(ESD=Education for Sustainable Development)の10年」とされており、本年はその最終年次にあたる。授業者は、本年ESD日米教員交流プログラムに参加し、アメリカの教員といくつかの共同プロジェクトを発足させ、取り組んでいる。そのプロジェクトでは、実際にアメリカの生徒たちと交流を進めており、英語を学習している生徒たちにとって、実際に英語を母国語とする生徒たちと交流できることは、英語学習へのモチベーションを高めるとともに、学習したことを活用する絶好の機会となっている。

本授業では、ESDが扱うテーマを題材とし、一人ひとりが問題意識を持つこと、そして、情報を伝達・発信する際の目的と対象とを明らかにしつつ、英語を活用し、生徒が主体となり学習活動を進めることをねらっている。「わが国における『ESDの10年』実施計画」では、ESDは「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていくことを認識し、行動を変革するための教育」と定義されている。

持続可能な開発を通じて全ての人々が安心して暮らせる未来を実現するには、わたしたち一人ひとりが、互いに協力し合いながら、さまざまな課題に力を合わせて取り組んでいくことが必要である。そうした未来へ向けた取り組みに必要な力や考え方を人々が学び育むこと、それが「持続可能な開発のための教育=ESD」なのである。

また、中学校外国語科(英語科)の学習指導要領には、「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。」とある。したがって、本授業においてもESDの考え方や学習指導要領に基づき、東京オリンピックを6年後に控えた東京や日本が抱えている課題を自ら見出し、それについてどのような考えを持っているかをまとめ、アメリカの生徒たちに「東京・日本をよりよくするために、私たちが考えること」としてニュース番組を制作するという活動を行うことにした。

授業は英語学習リーダーが中心となり進め、生徒たちが自ら『考創』(考え、創り出す)する学習の時間とした。この時間を通して、先を見通す力(時間を管理する力や計画する力を含む)や協働で創り上げる力、想像力、創造力、リーダーシップ等の育成を目指したい。また、21世紀型能力は、「基礎力・思考力・実践力」で構成されている(公開研究会紀要総論参照)が、それにおける「基礎力」の言語スキルと情報スキル、「思考力」の問題解決・発見力、創造力、「実践力」の自律的活動力、人間関係形成力、社会参画力、持続可能な未来への責任のそれぞれ能力についても意識させたいと考えている。

※ESDとは、社会の課題と身近な暮らしを結びつけ、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動である。例えば、持続可能な社会の課題を知り、その原因と向き合う。それらを解決するためにできることを考え、実際に行動する。そのような経験を通じて、社会の一員としての認識や行動力が育まれていく。また、豊かな自然と人のつながりを感じたり、地域に根ざした伝統文化や人びとと触れ合いながら、人と自然、人と人との共存や多様な生き方を学ぶといったことも、ESDのアプローチのひとつである。

3 授業づくりの工夫

「協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力」を育てるために、個人ではなく、常にグループがユニットとして行われる活動を設定している。それぞれのステップにおいて、思考やアイデアを可視化するためのツールを活用することを促したり、目的や対象を明確にした伝達・発信を意識する活動を設けたりして、実際の生活をよりよくするための実践的なコミュニケーションの基礎を培うきっかけとなるよう工夫した。

4 題材・単元の展開

第1時 グループで分担し、協力して、同年代の生徒が書いたスピーチを読み、そこに記された内容について考えを交流し合い、深める。【Reading, Discussion/思考・判断・表現、対話・協働】

第2時 本授業の課題に関してニュース番組を制作するために、東京や日本が抱える課題や問題について、考え、意見を共有し、深め合う。また、ニュース番組制作のための構想を練る。【Discussion/対話・協働、思考・判断・表現、伝達・発信】

第3時 考えたことを英語で表現しつつ、アメリカの生徒(対象)に伝えるため(目的)のニュース番組を制作する(発表)。発表について評価する。(本時)【Discussion, Speaking, Listening/対話・協働、思考・判断・表現、伝達・発信】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①グループで協力して、対象と目的を意識した英語のレポートを制作することができる。
- ②制作したレポートをわかりやすく英語で発表することができる。
- ③他のグループの発表に対して良い点と課題点を評価することができる。

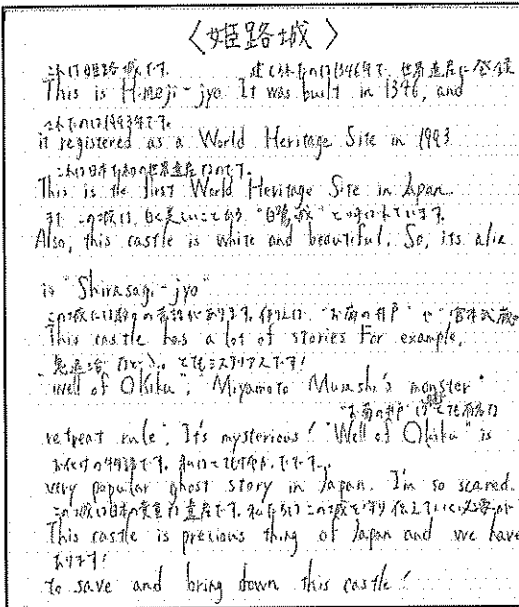
(2) 学習の展開

	主な学習内容と活動	指導上の工夫・配慮
課題設定	・本時の目標を立てる。ルーブリックに記入する。【思考・判断】 ・グループで活動の方針・計画を立てる。【思考・判断】 【対話・協働】	・適宜、英語学習リーダーをサポートする。 ・各グループを巡回する。必要に応じてサポートする。
課題追究	・わかりやすいレポートになるようにグループで記事を考える。【思考・判断】【対話・協働】 ・考えた記事を英語で表現する。【表現】 ・レポートの方法を考える。【思考・判断・表現】【対話・協働】 ・発表(録画もする)を行う。他のグループは発表を聴く。【伝達・発信】	・これまでの学習を活かすように促す。 ・活動が進みにくいグループには支援をする。 ・対象と目的を意識するように促す。 ・発表がスムーズに行われるようにリーダーをフォローする。
省察	・本時の発表を個人・グループでふり返り、フィードバックを交わし合う。【思考・判断・表現】【対話・協働】 ・授業者によるまとめを行う。【思考・判断】	・本時のふり返りが効果的に行われるようにサポートする。 ・次回につながるようなフィードバックを与える。

(3) 本時の評価

- ①グループで協力して、対象と目的を意識した英語のレポートを制作することができるか。
- ②制作したレポートをわかりやすく英語で発表することができるか。
- ③他のグループの発表に対して良い点と課題点を評価することができるか。

【実践12】世界遺産について学習しよう



教科書の単元の学習とも絡め、世界遺産について学習した。世界遺産の種類や採択の流れ、特に、日本の世界遺産はすべて紹介し、理解を深めた。生徒たちは、自分が興味を持った世界遺産（世界・日本一つずつ）を調べ、調べ学習ノートに記録した。なお、ESD や世界遺産に関しては、定期テストでも出題した。

←資料26 世界遺産についての調べ学習 生徒ノートより

資料27 定期テスト問題

(平成26年度 第2学年 後期中間テストより)

教科や文化に対する知識・理解を確かめる問題

7. 次の文を読んで、あとの各問に答えなさい。【4点】

今、世界には、環境、貧困、人権、平和などといった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組む (think [] , act locally) ことにより、それぞれの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

問1 ESDの正式な名称を次の英語、日本語の空欄に適する語を補ってそれぞれ答えなさい。
 ・英語 [E] for [S] [I]D []
 ・日本語 「[]な[]のための教育」 ※はじめの1つは問題文中の□と一致しなさい。

問2 文中の[]に適する語を答えなさい。

8. 右図はESDの概念図ですが、これに「世界遺産」に関する学習も示されています。世界遺産について、次の各問に答えなさい。【8点】

問1 次の①～⑥の写真を見て、あとの問に答えなさい。

(1) ①～⑥の世界遺産がある国の首都を次のア～スからそれぞれ選び、①～⑥の順に記号で答えなさい。
 ア Rome イ New York ウ Ottawa エ Paris オ London カ Beijing キ Seoul
 ク Madrid ケ Moscow コ Dodoma サ Cairo シ Berlin ス Washington D.C.

(2) ①と②の名称をカタカナで答えなさい。

問2 次のI・IIを読み、あとの問に答えなさい。

I In order to save nature and the history of humans for future generations, [] designates certain natural areas, ancient buildings and ruins as World Heritage Sites.
 *designate: 指定する *ancient: 古い *ruin: 遺跡

II 日本は、1992年、[]の世界遺産条約 (世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約) (1972年採択、1975年発効) を締結し、翌1993年、我が国から初めて、「法隆寺地域の仏教建造物」及び「姫路城」の2件が文化遺産として、「白神山地」及び「隠岐島」の2件が自然遺産として、世界遺産一覽表に記載された。その後、1994年に「京都府の文化財」、1995年に「[A]」、五箇山の合衆造り (岐阜)、1996年に「京都府」及び「[B]」神社、1998年に「京都府の文化財」、1999年に「日光の社寺」、2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」、2007年に「石見県山陰とその文化的景観」、2011年に「[C]-仏国寺 (淨土) を表す集落・庭園及び考古学的遺跡群」、2013年に「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」、2014年に「[D]」園と組曲集 (遺産群)、それぞれ文化遺産として、2005年に「知床」、2011年に「小笠原諸島」がそれぞれ自然遺産として、世界遺産一覽表に記載されている。

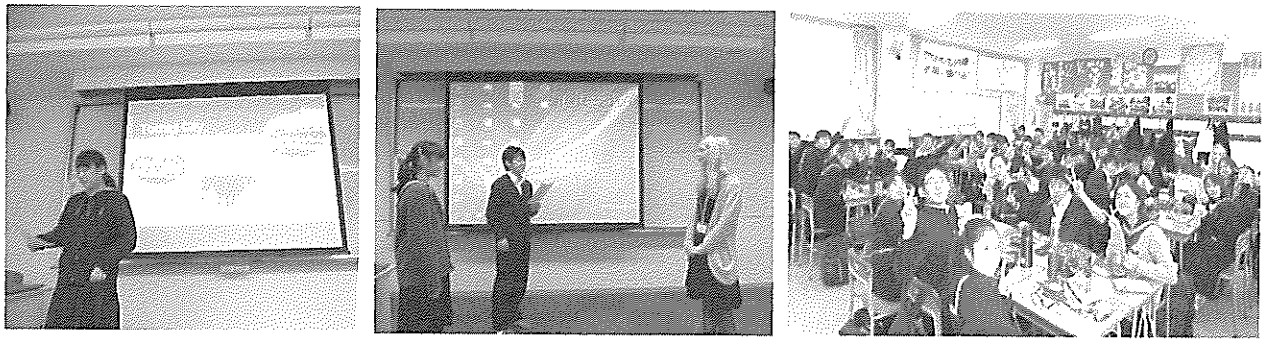
(1) Iの文中の空欄に適する機関名をアルファベットと日本語の正式名称で答えなさい。

(2) 次の写真A～Dは、IIの文中の空欄A～Dと一致します。それぞれに該当する語を答えなさい。また、地図からそれぞれの位置を番号で選び、答えなさい。

【実践13】ミシェル先生に日本についてプレゼンテーションをしよう。

ドイツのケルン大学から本大学に教育実習インターン生としていらっしやったミシェル先生に対して日本についてのプレゼンテーションを行った。全員がLL教室でパワーポイントを用いて発表した。挨拶は英語学習リーダーが行い、ベース学級の2年菊組では昼食を共にし、交流を深めた。

写真28 ミシェル先生に日本についてのプレゼンテーション、挨拶、2年菊組での昼食の様子



【実践14】 東京大学・大学院の留学生のみなさんと交流しよう。(第2弾)

第1学年次に引き続き、東京大学の古市由美子先生のご協力のもと、留学生のみなさんをお迎えし、国際交流の機会を設けた。初めに、留学生一人一人の自己紹介を英語と母国語の両方でしていただき、その後グループごとにそれぞれの留学生の母国の文化についてのプレゼンテーションをしていただいた。そのあとに、テーマに関してのディスカッションを行った。活動の様子や感想を掲載した学年通信を発行した。

写真29 挨拶、交流活動の様子



資料31 学年通信

資料30 国際交流授業レポート

2014年度 第2学年 英語科 国際交流授業レポート
2014/12/16 (TUE)

1. プレゼンの記録

中国の茶	飲茶時
烏龍茶 (紅茶)	急がせ(急須)
花茶 (茉莉花茶)	日本人の習慣
普洱茶	熱湯で淹める(淹れ茶)
銀針茶	淹れ茶の淹れ方
龍井茶	淹れ茶の淹れ方
碧螺春	淹れ茶の淹れ方
六安瓜片	淹れ茶の淹れ方

2. 感想

今回の授業は中国の留学生の方と交流する機会がたてられ、とても貴重な体験になりました。中国の文化や習慣について、とても興味を持ちました。また、中国の茶について詳しく知ることができ、とても楽しかったです。中国の茶は、種類が多く、淹れ方もそれぞれ違って面白いです。淹れ茶は、淹れる時間や淹れ方が違うので、淹れ方もとても勉強になりました。淹れ茶の淹れ方を学ぶことが、とても面白かったです。淹れ茶の淹れ方を学ぶことが、とても面白かったです。

第2学年 学年通信「磨く」 第32号
学年目標 「磨く〜よりよく生きる 切磋琢磨〜」
2014.12.20 (担当 中島)

磨く

英語で国際交流の授業を行いました！

12月16日(火)の英語の授業では、東京大学・大学院から今年で11名の留学生の方、4名の日本人学生の方をお招きしました。最後は最後は英語の授業の感想を共有しました。授業では、各自自分のグループに分かれ、それぞれの留学生の母国の文化についてプレゼンテーションをしていただきました。その後は、グループごとにそれぞれの留学生の母国の文化についてのディスカッションを行いました。活動の様子や感想を掲載した学年通信を発行しました。

今回の授業は中国の留学生の方と交流する機会がたてられ、とても貴重な体験になりました。中国の文化や習慣について、とても興味を持ちました。また、中国の茶について詳しく知ることができ、とても楽しかったです。中国の茶は、種類が多く、淹れ方もそれぞれ違って面白いです。淹れ茶は、淹れる時間や淹れ方が違うので、淹れ方もとても勉強になりました。淹れ茶の淹れ方を学ぶことが、とても面白かったです。

【実践15】海外の人に日本のアニメ・マンガを紹介しよう。 資料32 アニメ・マンガのレポート

教科書の単元と連動する活動とした、教科書で日本のアニメ・マンガについてのアウトラインを学習し、自分がお気に入りのアニメ・マンガを紹介するレポートの作成を行った。

【実践16】海外の人におすすめの日本のスポットを紹介しよう。

自分が海外の人に薦めたい日本のスポットを紹介するパンフレットを制作した。それぞれがあらかじめ構想用紙にイメージを練り、準備をし、工夫を凝らして作成することができた。

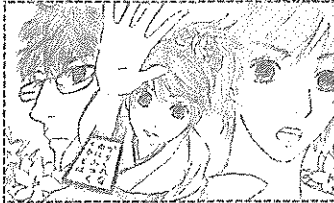
I like this manga / anime.

まずは、おすすめのアニメやマンガの基本情報を書こう。

タイトル ワンピース

作者 尾田栄一郎

アニメはマンガのつづり絵のが好きな人はアニメを見る(？)



TASK 1 自分中に描きかきやからお気に入りのマンガを一つ日本語で書き出し、見聞かしてあげよう。

① 主人公 ルフィ

② 登場人物 ゾロ、ナミ、ウソップ

③ 設定 海賊の世界

④ 感想 面白くて、みんなが仲良く

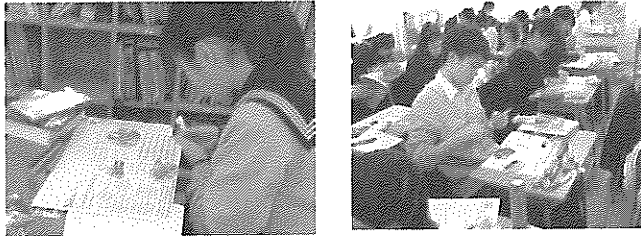
TASK 2 この作品のあらすじや好きなポイントなどを英語で説明しよう。好きな人はいくらでも書いていいよ。(最低3行は書こう)

I like One Piece in the world because it shows a world where everyone is free and happy. The main character is Luffy and he wants to be a pirate king. I like his friends like Zoro, Nami, Usopp, Sanji, Koro-mar, Chopper, Nico Robin, Franky and Tony Tony Chopper. They are all very strong and they can help each other. I like the world where they live because it is a very good and fun place to live in. I want to see the world where the manga is because it is very interesting. I am glad if I can show you the world of One Piece. I will try to read the next One Piece book soon.

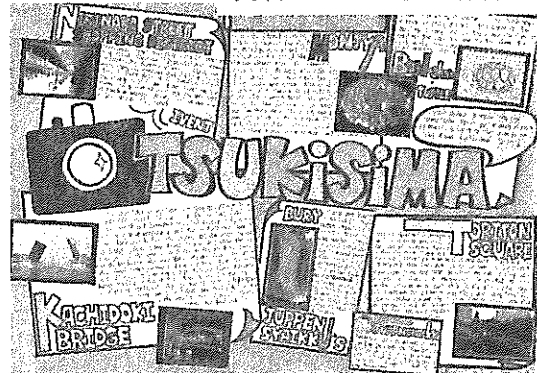
TASK 3 この作品を他人に説明できれば英語で書こう。好きな人は日本語でも書いていいよ。(最低3行は書こう)

I don't know much about One Piece but I like it because it is a very good and fun place to live in. I want to see the world where the manga is because it is very interesting. I am glad if I can show you the world of One Piece. I will try to read the next One Piece book soon.

写真33 パンフレット作成の様子



資料34 生徒の作品



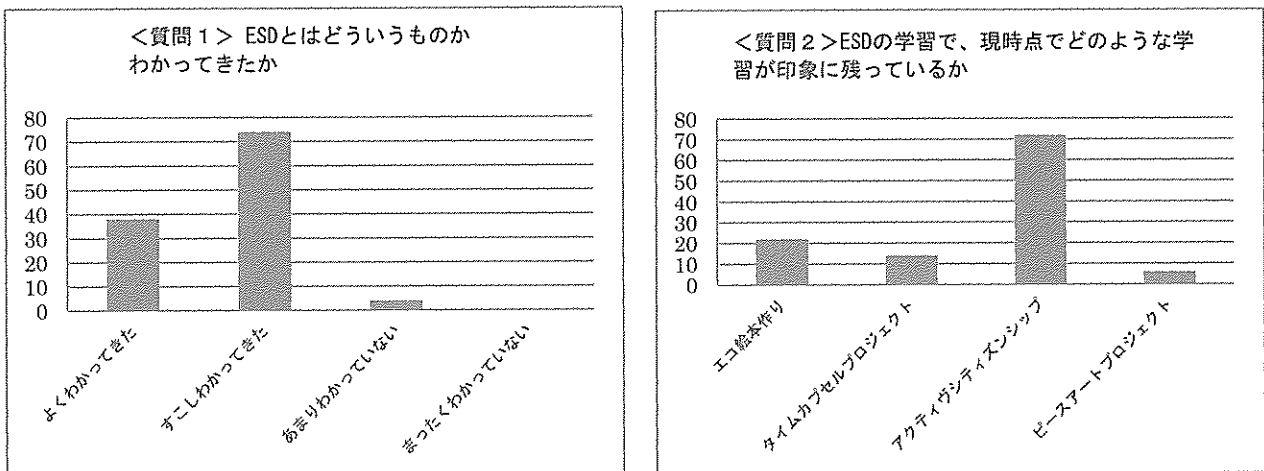
V 考察と課題

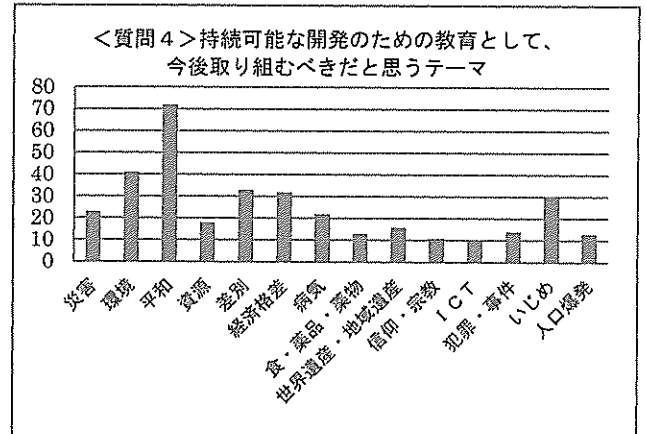
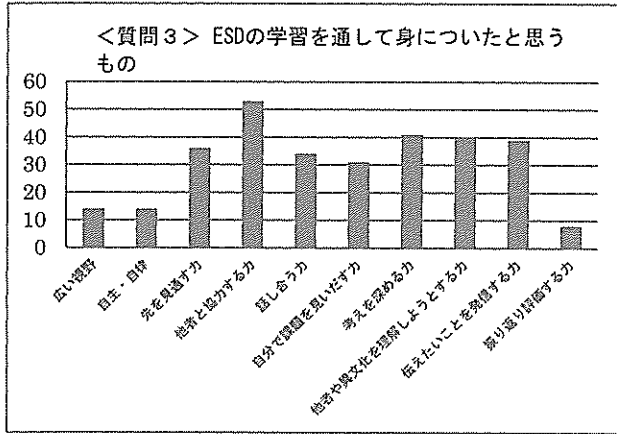
1. 考察

(1) アンケートの結果からの考察

ESD学習を始める前に実施した調査では、ESDの認知度は0%であった。2014年12月実施したアンケートでは以下の結果が得られた。

資料35 2014年12月実施のアンケート結果





以上のアンケートの<質問1>の結果からは、12月の時点では、多くの生徒がESDを理解しつつあることがわかる。<質問2>の結果からは、実際に自分たちで課題を見出し、調べたり、話し合ったりすることで、考えを深め、アメリカの学生に伝えるためのニュース番組を制作するという Active Citizenship Project への印象が強いことがわかる。やはり、自らが自主的に・自律的に問題を見出し、それと向き合うという体験は生徒たちにとって重要であったようである。問題意識を持ち、主体的に、協働的に行う課題解決型学習となる本プロジェクトでの活動を通して、ESD への理解をより深めていったと考えられる。

<質問3>の結果から、ESD 学習を通して、「他者と協力する力」を身につけることができたと感じている生徒が多いようである。ESD の学習プログラムでは、個人が自分なりの考えを持つことも大切であるとともに、それらを他者と交わし、解決策を見出そうとする姿勢が大切である。様々な活動で他者との関わりの中で体験的にそのことを学ぶことができた生徒が多かったということであろう。

<質問4>の結果からは、ESD 学習開始時のアンケート同様、「平和」に関する関心が高いことがわかる。第3学年では、「平和」・「人権」を授業テーマに設定し、さらに ESD 学習を進めていく予定である。

(2) 第2学年次の ESD 学習を終えての感想からの考察

以下、生徒が第2学年終了時に ESD の学習後に書いた感想の一部である。

資料36 第2学年次の ESD 学習を終えての感想（自由記述）

ESD の学習では多くのことを知ることができました。まずそもそも「ESD」という存在を知り、「持続可能な開発のための教育」についてやっていたことを知りました。またアメリカの学校との交流をすることで「つながる」ことの楽しさを知ることができました。これからの時代もっと今よりもグローバル化が進むと思うので、世界中の人たちとつながってみたいという思いが強くなりました。ESD を通して、外国だけでなく、日本のことも多く学び、考えたと思います。現在日本が抱えている問題を見つめ、日本の良いところを発信して、改めて「日本」について考える良い機会になりました。楽しかったです。
ESD をやったことで、日本で今起きている問題をたくさん見つけることができました。そしてその解決策を考えることは、これからの日本や世界をより良くしていくために、大切なことだと思いました。自分の考えを述べて、それに対して、みんなで意見を言い合うのが楽しかったです。これからもいろいろな問題に対して、自分の考えをきちんともって、少しでも良いので、実践できることはしていきたいです。考えるだけでなく、政治も動かせるくらいになったらいいなと思います。
「ESD」というキーワードはこの学習が始まるまで全く知らず、自分には関係ないと思っていました。しかし、未来を担っていく私たちはこの授業を通して様々な問題を客観的にとらえる必要があることに気づくことができました。また、考えを深めていくだけでなく、私にはなかった「先を見通す力」「情報を発信する力」も高められる良い時間になりました。
ESD の活動は正直少し苦手でした。自分のいいたいことがまともになかったり、「英語」となると難しく考えてしまったりしたからです。しかし、そのような力を身につけられたかなと思いました。ESD という活動から、物事を深く考えてみたり、様々な角度から、物事を見るのが出来たことが一つの「学び」であったと思います。今度の課題として、先を見通す力、計画性を持つことをがんばっていきたいです。
ESD って何？と正直ずっと思っていたのですが、この授業で「伝える力」がとてもよく身についたと思います。相手のこともしっかり理解することの重要性和難しさにも気づくことができました。クラスの VTR を作ったときには協力することが大切だとわかりました。ESD とは「勉強」よりも大きなくくりで生きるために大切なことを学ぶべき時間なのだとわかりました。

<p>最初は、ESDの意味が全くわからなかったのですが、だんだんわかるようになってきて、いろいろな力が身につきました。私が一番成長した！と感じたことは「先を見通す力」です。今では話し合いをスムーズに進め、時間内でおわらせることができるようになりました。世界には全く支援を受けていない人もいますので、これから役に立てることがあったらどんどん実行していきたいです。</p>
<p>ESDを始めてから、世界の人に伝える、伝わるように工夫するということを学び、世界の人たちというのを意識して文を作ったり、パワーポイントを作ったりということができるようになりました。また、日本のことを世界の人たちに紹介するという視点から日本のことをみるという点で、視野も広がったと思いました。</p>
<p>初めはなんのことも分からず言われるままにやっていたのですが、だんだん目的が分かり、いろんなことを知ることができました。日本だけでなく、世界のいろいろな問題について考えるのは大切なことだと思います。でも、やっていくなかでみんなと意見を合わせたり、出し合ったりするのは難しい場面も多かったのですが、自分たちの力でまとめることができたときほうれしかったです。これからも、この授業を続けたいです。</p>
<p>これらの学習では、先を見通す計画性や広い視野で考えを深める力や他者と協力し、違う多くの視点から考える力、自ら課題を見出す力、他者や異文化を理解しようとする力などが主に鍛えられたと感じています。内容について考えたりできただけでなく、自分自身の力も鍛えられました。ESDでは、中島先生がアメリカのボブ先生らと協力して学習しているということもあって、より身近に異文化を感じながら活動できた気がします。ESDは、私たちの単なる学習ではなく、持続可能な開発についてなので、今後の、将来のためにも、とても大切なことなのではないかと思っています。この学習がもっと広がってくれるといいです。英語的な面で見ると、文構成や発表（発信）という面で少し鍛えられた気がします。タイムカプセルプロジェクトやアクティビティズンシッププロジェクトなどの、タイムカプセルを自分で取りに行き、関わったアメリカのお友達とも何かしらのかたちで関わっていきなうて思います。これからの世界に関わる学習なので、とても大切な時間でした。これからも学習していきたいです。</p>
<p>ESDを通して、外国との交流、文化を知り互いの国をよく知り合うことが大切だなと思いました。また、自分が調べたものや知ったことを発表するときの大変さ、難しさを改めて知りました。これからはもっと上手にできるようにしたいです。</p>
<p>今起こっている問題を自分達で出来る限り解決していくためには、どのように行動を起こせば良いか分かるようになりました。身に回りで起きている課題についていかに真剣に取り組むべきか大切さを知り、班員やクラスメートと今後もこのようなESDの学習を学校だけでなく、家でも続けていきたいです。</p>
<p>まず今世界がどうなっているかというのがわかりました。また、異文化交流が出来て、初めての体験ばかりだったのですが、とてもたのしかったです。また学習のグループではワールドカフェをやっていたのでみんなの意見も分かりやすく見えたし、話し合いも深くまで追求できました。</p>
<p>ESDの学習で、自分で何かを作ったり、班員で話し合ったりしたことで、学校の目標である「自主・自律」を身につけることができたと思います。また、班員でパワーポイントを作ったときは、班員と話し合ったり、計画を立てたりしたことで、先を見通す力や他の人と協力する力がついたと思います。また、ESDの授業をきっかけに、異文化について考える機会が増え、また興味を持つようになりました。</p>
<p>ESDでは他の人と協力することが多いなあと感じました。それをする事によって、やはり他人と協力する能力が身についたと思います。時には自分でやって、他の人の意見と合わせて発表するという事もありましたが、無事乗り越えられたと思います。他國の人と共生するためには英語は不可欠なのだなあと改めて思いました。英語を学習することで他國の人と気持ちよくコミュニケーションがとれるのががんばって練習したいなと思いました。</p>
<p>ESDは、教科書から大きく離れているために、将来の世界についてまでを学習できるのでとても役立っています。学んだことは、世界や今の日本に、私たちのような子供でも少しずつ貢献できるということです。そして、まずは知ることから始めて、自分の考えを確立し、そこから友人と他者の考えを学び、1つの意見にまとめていく基本の順番を理解することができました。他國の異文化にも触れることで自分の考えが深まり、広がっていきけることに気づくことができたと思います。今後はこの学びと気づきを忘れずに実行していけるようにしたいです。</p>
<p>ESDでは英語を中心に視野を広げていくことができたのでよかったです。世界の問題について考える機会ができたので、より世界に興味を持てるようになりました。また、テーマを自分で計画的に研究し、進めていくことができるようになったので、今後にかきたいなと思いました。学んだこと：世界の中でも私たちは恵まれた生活をしている。支援しなければいけない人がいる。</p>
<p>今までのESDの学習では、日本国内のことだけにとられるのではなく、国外のことにも目を向けることで“持続可能な開発”につながるのではないかなと気づくことができました。また、今まで調べたことに限らず、まだまだ沢山学べることはあると思うので、がんばっていきたいです！</p>
<p>ESDの学習では日本の問題や歴史、文化、日本のこれからなど、様々な視点から日本を見直していくことができたと思います。特に、東京オリンピックが2020年に開催されるので、私たちが今後どのように過ごし、問題を解決していくかで、世界の中の日本という立場が変わっていくと思います。ESDは、その問題を考えていく良い機会になったと思いました。</p>
<p>ESDの学習では、日本の文化等を外国の方々に発信したり、外国の文化を学んだり、日本で今起きている問題について考えました。その中で、私は日本でも細かいところで色々問題がおきていたり、日本ですたれていってしまっている文化が沢山あることを知ったのが一番の学びだと思います。大きい行動はできなくても身近なところで自分のできることをすることができる強い心を持った人になれるようにこの学習を通して学んだことを日々の生活で存分にいかしていきたいです。</p>
<p>異文化との交流について。私が今回の学習で1番思ったことは、他文化と交流することによって、沢山の発見があるということ。ESDの持続可能な開発とは、このようにいろいろな発見を自分達の手でみいだすことができるのだと思いました。考えを様々な角度から深めることが出来ました。</p>

<p>ESD の学習を通して、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えるということ、他人の意見に耳をかたむけて、本質を理解するという力が身につけることができたと思います。また、リーダーとして責任を持つこと、先を見通すこと、みんなをまとめることができるようになりました。</p>
<p>ESD と言われてもはじめはなんのことやら全然わからなかった。しかし、いろんな学習を積み重ねるうちにだんだんこの学習の目的がわかってきた気がする。それはたぶん今の私たちがこの現状を改善するためにできること、またやるべきことはなんなのか考え、行動してみようということなのかなと思う。ESD の活動は、いつも活動できる時間がとても少なく、大変だが、その範囲内で、どれだけのことをできるかと、自分で考える力、他人と一緒に計画を立てる力がのびたのではないかなと思う。</p>
<p>ESD の活動は、英語力がとても鍛えられるものだと思います。自分が持っている英語の知識でいかに表現するか、それを考える力が強くなったと思います。また、ESD には英語力のみならず、発表の力、協力する力、発想力が必要になってくると思います。ESD は、社会を生きる人としての総合的な力が身につく、良い学習だと思います。</p>
<p>ESD では日本の中だけではなく外国の人との交流もあり世界の文化について知ることができます。また、日本の問題点について考える授業では東京オリンピックに向けて観光客など周りの人からどう見えるかを考えることができました。さらに、日本を紹介する授業では、海外の人に是非知ってもらいたいことについてそれぞれが詳しく発表することができました。発表する相手が違う国の人だと、どうしたら一番わかりやすく伝えることができるかを考えることができるので相手を考えて自分について伝える力がつくと思います。</p>
<p>初めのうちは、何をやっているのかもよく分からずに、活動をしてきたのが、最近では、何を大切にすればいいのか、何を根本に考えているのか、などなど考えてやれるようになってきました。また、PPT を使った発表を通して、相手を意識したまとめ、発表方法を考えられるようになったかなと思います。</p>
<p>ESD では1人でできないことがたくさんあるので、班で話し合うことができ良かったです。自分の考えをどんどん述べ、それをまとめることでもっと深まることがよく分かりました。いろいろなプリントを違うまとめに使うことで、とても分かりやすくなりました。これは色々なことに活用できると思います。まとめ方、分かりやすい発表に仕方など、沢山の工夫が良くわかりました。</p>
<p>自分が普段あまり興味がないような事でも学習を通して理解を深めることができました。また、色々な人の話を聞いて、より違う文化の良さについて気づく事ができたり、新たに興味がわいたものもありました。</p>
<p>外国を見て、日本を見ると、日本の特色、良いところ、悪いところが第三者視点で見ることができる。日本ではあたり前だったことでも、外国ではあたり前ではないこともある。「外国の方の為に」と思ってプレゼンなどを作ると、いままで見えていないことが見えた気がした。</p>
<p>僕は、ESD という言葉すら知らないような状態で学習をスタートさせ、いきなり「持続可能な開発のための教育」といわれてもばつときませんでした。本当は、今もまだあまりばつときてはいません。ですが、ESD を学ぶことで、「持続可能な開発のための教育」以上に先を見通したり、少ない時間の中でどうやりくりするかを考えたり、他人の意見と自分の意見をうまく合わせてよりよいものにしていくことができました。それは本当に学べてよかったと思います。ESD といっても、それはとてもどこまでもはてしなく広がるものであり、深めようとすればどこまでも深められるものだと気づきました。これからもっと色々なESDにふれ、広く深く楽しめたいなと思います。</p>
<p>ESD の学習では、1つのテーマに対して、グループで話し合うことによって、考えを深められたり話し合いを整理する力がついたと思います。また、そのテーマを色々な方向から見ることによって視野が広がりました。それを自分で英語に訳してプレゼンしたことによって英語力もついたと思うし、相手に自分の伝えたいことを伝えられる力もついて、とてもためになった学習プログラムでした。</p>
<p>自分たちで課題を見つけるので、身近なことを注意深く観察する力がつきました。また、自分の意見をしっかりと持つことができ、他者との意見交流も積極的に行うことができました。リーダーとしては、より皆がわかりやすく、積極的に参加できるような場をつくるよう心がけました。</p>
<p>ESD の学習を通して、他者の考えを理解しようとする力が持続可能な開発のために必要だと分かりました。地球に住む人として、1人1人「地球をよりよくするためにはどうしたらよいか」考えているはずなので、その考えを出し合って、深く考え直すことが大切です。また、私には、深めた考えを他者に発表する能力が足りないと思いました。何度か発表をしていくうちに、他者に分かってもらおうとする工夫がどれだけできるかが相手とのコミュニケーションに重要であるとわかりました。</p>
<p>私はESDを通して、世界の問題や文化について、また日本の問題について学び、班の人たちと協力して、その問題などについて考え、発表することができました。また、未来を見据え、改善策を考えることもできました。この学習では、社会のグローバル化を進めるために英語で学び、コミュニケーション力を高めると共に、自分たちの身の回りの問題を題材に深く考えることを学べたり、それらを目的にESDを行ったのではないかと思います。ESDは、英語を話す力、色々なことについて考える力、考えたことを身近な人と共有する力、周りに発言する力など、様々な能力を育てるための良い学習だと思います。</p>
<p>ESD では、仲間と協力して、1つのものを形にしていくということが多く、それも4人だったり20人くらいだったり人数もばらばらでした。なので、1人1人の違った意見をみんなが納得して1つにできるか?ということがとても大変で、いつもこれで進まなくなったりしました。けれど、いざ終わってみると、とても達成感が強くて、それも1人ではなく、みんなで1つのことを成し遂げられたという喜びでした。個人での面白さもあるけれど、複雑なものもおもいました。ESDは「持続可能な開発のための教育」という意味で、私たちもそれにもとづいていろいろとやってきましたが、その課題のどれもが将来の私たちの糧となる考え方への練習であった気がします。難しいものもあったけれど、だからこそ、新しい目線で分析する力も養えました。楽しかった。</p>

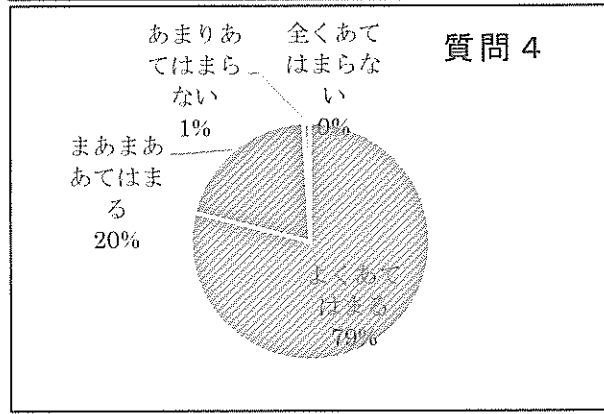
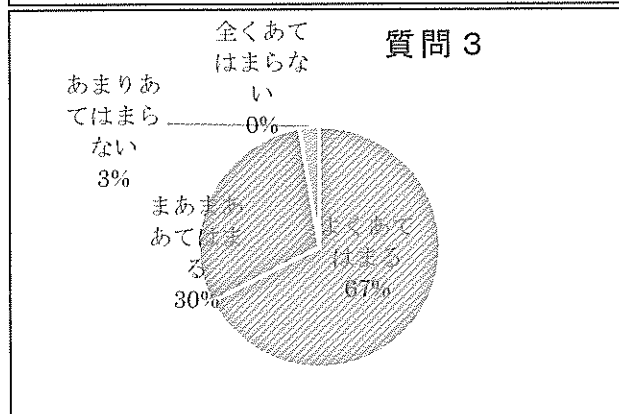
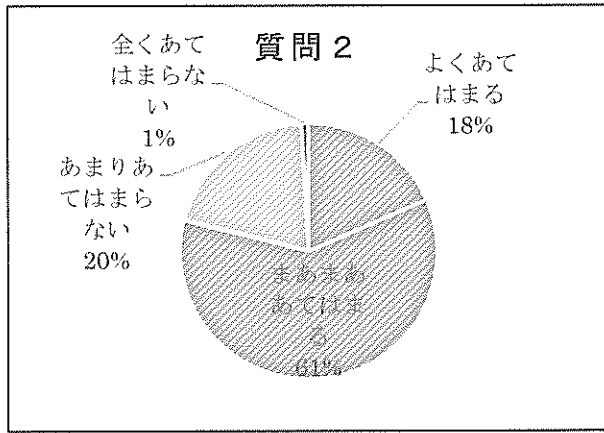
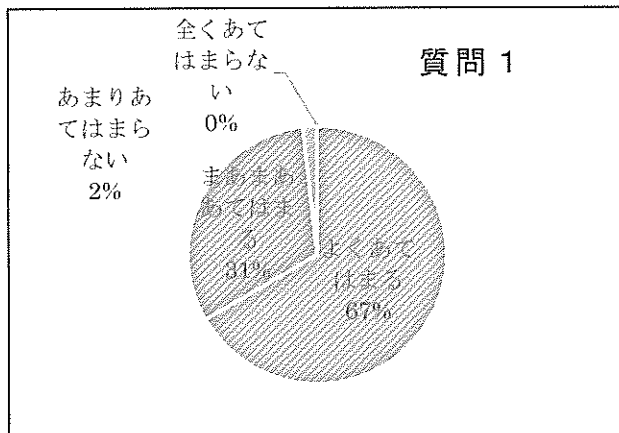
生徒たちの感想から、初めはESDとは何なのかよく理解をしてはいないが、徐々にわかり始め、その過程で複雑さや難しさを感じつつも、それぞれが何らかの形で気づきや学びといった得るものがあったようである。それが、協力することの大切さであったり、先を見通す力であったり、伝えたいことを伝えるための英語力の重要性であったりと様々であるが、視野の広がりが感じられるコメントが多く得られたことはうれしい限りである。また、授業者である著者の意図したところをコメントに寄せてくれた生徒もあり、本プログラムが中学校の英語科の授業と連動することによる有益さを実感した。

(3) 学年終了時に実施したアンケートからの考察

学年終了時に実施したアンケートでは、以下の結果が得られた。

資料 2 6 学年終了時に実施したアンケート

質問 1	「日本」に関する知識や理解が深まった。
質問 2	外国の方から「日本」について尋ねられたときに、答えられる自信がついた。
質問 3	「日本」についてさらに様々な話題について知り、考える必要性を感じる。
質問 4	「日本」のことについて発信していくことは大切だと感じる。



<質問 1>の結果から、「日本」についての知識や理解は深まった様子うかがえる。<質問 2>からは、その知識や理解の深まりが、それを尋ねられたときに答えられる自信につながった生徒が学年全体の8割程度はいることがわかる。このことは、ある一定の評価とすることができるものの、まだ自信がない生徒が学年の2割程度いることも明らかになった。このことから自信をつけるためにはどのようなプログラムを構築し、トレーニングしていくべきか考える必要があり、著者にとっての新たな課題となった。

<質問3>からは、学年の全員に近い生徒が、「日本」についてさらに知り、考える必要があると感じていることがわかる。そして、<質問4>からも、学年のほぼ全員が「日本」のことを発信していくことの重要性を認識していることが明らかになった。ESDの学習を英語の学習の一部と位置づけ、「日本」について考え、国際交流を盛んに進める中で、また違った視点から「日本」を見つめ直すことができたのではないだろうか。また、様々なコミュニケーショントピックとしての「日本」についても同様に、その話題の引き出しを増やし、深め、発信の材料としていくことが大切だと感じているのではないだろうか。また、それらはきっかけに過ぎず、そこから新たなコミュニケーションを創出していくことこそが重要なことであるとも感じていることであろう。

2. 検証

Dörnyei (2001) は、動機を高める方法の一つに、教材の内容を生徒の日常体験や背景に関連させるという「学習者に関連の深い教材の提示」を挙げている。高島 (2011) によると、日本のように、教室外で英語を使う必要性が低い EFL (English as a Foreign Language) 環境の中で、学習者の動機を高め、さらにそれを維持できる活動に求められることは、①学習者自身が認識できる明確な目的・ゴールが設定されていること、②学習者が主体的に関わることができること、③活動内に自由度があり、その中で個性が反映できることであり、これらの特徴は、まさに「与えられた課題に対して、自由な言語表現を用いて目的を達成する課題解決型の活動」というタスクの定義に反映されている。

本プログラムの実践を通して、生徒たちが、自ら「日本」およびその諸問題について興味・関心を持ち、明確な目的を持ち、主体的に、英語を活用し課題を解決していくという学習プロセスを体験できたことは、ツールとしての英語への学習意欲・動機を高めることにつながったと言えるだろう。また、コミュニケーショントピックとしての「日本」についての話題の豊かさを増大させることや明確な発信対象を設定すること、ESDの観点を活用した、「知る・考える・発信する」というコアサイクルを重視する課題解決型活動を行うことで、生徒は他者との協働性の重要性を認識し、困難さを感じつつも、その過程において協働学習への意欲、発信の意欲は高められ、達成感が感じられるものと考えられる。

3. 成果

フィールドワークや学会参加等を通して、コミュニケーショントピックとしての「日本」を教材化するための材料や情報を得ることができた。海外の学校や留学生等との交流の機会の増大は、生徒たちが客観的に「日本」について向き合うきっかけとなり、意識も高まり、それは「日本」への知を豊かにするとともに、英語での表現の幅を拡大することにもつながった。このようなプログラムを意識的に継続的に構築し、実践していくことがESDにもつながる。本研究からその重要性を感じた。

4. 課題

今後は、コミュニケーショントピックとしての「日本」のみならず、トピックの幅を広げた授業プログラムを開発・実践していくとともに、アンケート結果から得られたように、外国の方から「日本」について尋ねられたときに、答えられる自信を持つことができるようになるための授業プログラム開発に取り組んでいきたい。また、引き続き、ESDの実践研究を英語科の視点から積み重ね、生徒たちが身のまわりのみならず、世界の諸問題に目を向け、解決しようとする姿勢を養い、そのプロセスでツールとしての英語の重要性を実感し、それが英語学習への意欲や動機となる題材を開発してい

たい。

本研究は、平成26年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）奨励研究の助成を受けて行ったものである。（研究課題名：コミュニケーショントピックとしての「日本」を知り、考え、発信へとつなげる英語科授業開発【課題番号：26908031号】）

・調査分析協力：末森咲（お茶の水女子大学大学院）

・研究協力（共同プロジェクト研究者） ※所属は平成26年度当時

○ Time Capsule Project

Mr. Roberto Garza（McAllen High School）、野村毅教諭（岐阜県立中津高等学校）

○ Active Citizenship Project

Ms. Sara Krakauer（Innovation Academy Charter School）、Mr. Brad Parker（Josephine Locke Elementary School）、Mr. Jeff Blair（The Northwest School）、Mr. Jake Leuenberger（Johnson-Brock Public School）、

桐生朋文教諭（ぐんま国際アカデミー）、野村毅教諭（岐阜県立中津高等学校）

○ Peace Art Project

Mr. Brad Parker（Josephine Locke Elementary School）、Ms. Calan Gibney（Aspen High School）、

柳雄輔教諭（熊野町立熊野東中学校）、藤田実代子教諭（金沢市立泉中学校）

○平成26年度ESD日米教員交流プログラム マイアミ訪問教員団

亀山治夫教諭（京都市立西院小学校）、河野公彦指導主事（大分県教育委員会）、桐生朋文教諭（ぐんま国際アカデミー）、松本純教諭（武雄市立武雄北中学校）、宮田秀子教諭（北九州市立赤崎小学校）、村上和彦教諭（札幌市立明園小学校）、中島佳栄教諭（福岡市立元岡小学校）、野村毅教諭（岐阜県立中津高等学校）、大塚正信教諭（千葉県立国分高等学校）、戸水吉信教諭（金沢大学附属中学校）、若海由美教諭（埼玉県立熊谷西高等学校）

参考文献

- かりゆしグループ 観光文化事業部：2014 The essay & speech contest about Okinawa Tourism 第11回意見発表コンクール入賞作品集
- 関西大学初等部：思考ツール～関大初等部式 思考力育成法<実践編>～， さくら社， 2013
- 財団法人ユネスコ・アジア文化センター：ESD教材活用ガイド
- 高島英幸編著：英文法導入のための「フォーカス・オン・フォーム」アプローチ， 大修館書店， 2011
- 田村学・黒上晴夫・滋賀大学教育学部附属中学校：こうすれば考える力がつく！中学校思考ツール， 小学館， 2014
- 中島義和：Small Activitiesを積み重ねて創る英語科授業—「伝え合う力」「表現する力」の育成を目指して—， お茶の水女子大学附属中学校紀要・第39集， pp.55-66， 2010
- 中島義和：表現の工夫を意識させる授業づくり—「表現する力」の育成を目指して—， お茶の水女子大学附属中学校紀要・第40集， pp.53-76， 2011
- 中島義和：表現する力の育成と学校教育目標を意識した活動—生徒たちが自ら創り上げる英語発表活動を通して—， お茶の水女子大学附属中学校紀要・第41集， pp.73-100， 2012
- 中島義和：「考える」英語の授業を創る—「平和・人権」をテーマとして—， お茶の水女子大学附属中学校紀要・第42集， pp.55-65， 2013
- 廣森友人：第3章 動機づけ研究の観点から見た効果的な英語指導法， 小嶋英夫・尾関直子・廣森友人（編著）『英語教育学大系 第6巻 成長する英語学習者—学習者要因と自律学習』， 大修館書店， pp.47-74， 2010
- 本田勝久：「動機づけ研究」， 小寺茂明・吉田晴世（編）『スペシャリストによる英語教育の理論と応用』， 松柏社， pp.93-107， 2008
- 松山 ESD 促進実行委員会：国際交流・国際協力に基づく ESD 教材・カリキュラム開発事業 平成 21 年度 事業報告書
- 文部科学省：中学校学習指導要領 平成 20 年 3 月告示， 2008
- Dörnyei, Z. : *Motivational strategies in the language classroom*, Cambridge: Cambridge University Press, 2001
- Dörnyei, Z. : *The psychology of the language learner: Individual differences in second language acquisition.*, Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, 2005
- Dörnyei, Z. : *The psychology of second language acquisition*, Oxford: Oxford University Press, 2009